HITACHI

取扱説明書

詳細版

日立デジタル電子交換機用

多機能電話機

HI-C-TEL

このたびは、日立の電子交換機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

この説明書は、当社の電子交換機に接続してお使いいただく多機能電話機の説明書です。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになったあとも、いつでも見られる場所においてお使いください。

ご使用の前に 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただきあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物理的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告も含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左図の場合は「感電注意」です)。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は「分解禁止」です)。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています(左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜け」です)。

安全のために必ずお守りください

■異常時の処置について

⚠警告

- 万一、内部に水などが入った場合は、回線のモジュラージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、内部に異物が入った場合は、回線のモジュラージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに回線のモジュラージャックをはずし、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、電話機を落としたり、ケースを破損した場合は、回線のモジュラージャックをはずし、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

■取扱いについて

⚠警告

- 電話機に水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電話機の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- すきま等から内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本装置を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ぬれた手で本装置を操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 回線コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると回線コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電話機裏面にコードを接続する場合、あやまって受話器のコードをMFTまたはLINEに接続しないでください。回線電圧が受話器にかかって火災・感電・故障の原因となります。
- 充電端子を金属でショートさせないでください。火災・感電・故障の原因となります。
（※対象はコードレス電話機です。）
- 充電端子に水滴がついたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。
（※対象はコードレス電話機です。）
- 付属の充電器以外は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
（※対象はコードレス電話機です。）

⚠注意

- 電話機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 壁掛け式で使用の場合は、落下しないように注意してください。けがの原因となることがあります。
- 回線コードなどを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- コードレス電話機のアンテナをあやまって目にささないようにしてください。
（※対象はコードレス電話機です。）
- 寒い場所から急に温かい場所に移さないでください。内部に水滴が付くことがあります。これを結露といいます。結露したまま使用すると故障の原因となります。
（※対象は特に、コードレス電話機です。）

■設置場所について

⚠警告

- 直射日光の当たるところや温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 壁掛け用として取り付ける場合は電話機の重みにより落下しないよう堅固・設置してください。けがの原因となることがあります。
- テレビ、ラジオ、アンプ、スピーカボックスなど磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。また、テレビ局、ラジオ局などの近くやノイズを発生する大型溶接機器などの近くに設置しないでください。正常に動作しないことがあります。
- 製氷倉庫の中など、特に温度の下がる所に置かないでください。正常に動作しないことがあります。

■お手入れについて

⚠注意

- 静電気集塵型化学ぞうきんは絶対に使わないでください。火災・故障の原因となります。
- 汚れがひどいときはうすい中性洗剤をつけた布をかたくしぼって拭き、その後かわいた布でもう一度、からぶきしてください。洗剤や水をスプレーなどで直接かけるようなことはしないでください。故障の原因となります。
- アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因となります。

■電池について

⚠注意

- 電話機で指定されていない電池は使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。（※対象はコードレス電話機です。）
- 使用済みの電池は火中に投げ入れないでください。爆発して火災・やけどの原因となることがあります。（※対象はコードレス電話機です。）

■交換機の取り扱いについて

⚠注意

- 交換機のキャビネットを外さないでください。内部に触れると感電の原因となります。
- 交換機のキャビネットを外さないでください。蓄電池の電源部や電源の配線が筐体に触れると火災や故障の原因となります。
- 指定のヒューズ以外は使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 交換機のキャビネットを外さないでください。電源部に触れると火傷の原因となります。

ご使用にあたって

- ご使用の前に本書および電話機に同梱されている簡易取扱説明書をお読みください。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置には、工事担任者資格を必要とする場合があります。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 取扱説明書をお読みになったあとも、いつでも見られる場所に置いてお使いください。なお本書を紛失したり破損したりして読めなくなった場合は、お買い上げの販売店にてお求めください。
- 受話器のマイク側に臭い消しを付ける場合は、できるだけ薄いもの(約0.5mm)をご使用ください。厚めのものは受話器を戻しても電話が切れなくなるときがあります。
- 使用中の携帯電話を、この電話機に近づけると通話にノイズが入ることがあります。

各部の名称とはたらき

多機能電話機の種類

標準電話機（12ボタン）
HI-12C-TELSD-N

停電直通用電話機
HI-24C-TELPF-N

停電になってバッテリーからの給電が停止しても、外線発信／着信ができます。

標準電話機（24ボタン）
HI-24C-TELSD-N

INS64停電直通用電話機
HI-24C-TELPFI-N

停電になってバッテリーからの給電が停止しても、INS64回線での外線発信／着信ができます。

標準電話機（32ボタン）
HI-32C-TELSD-N

8個のワンタッチボタンが付いています。

アナログポート付電話機
HI-24C-TELOA-N

パソコンと接続できます。

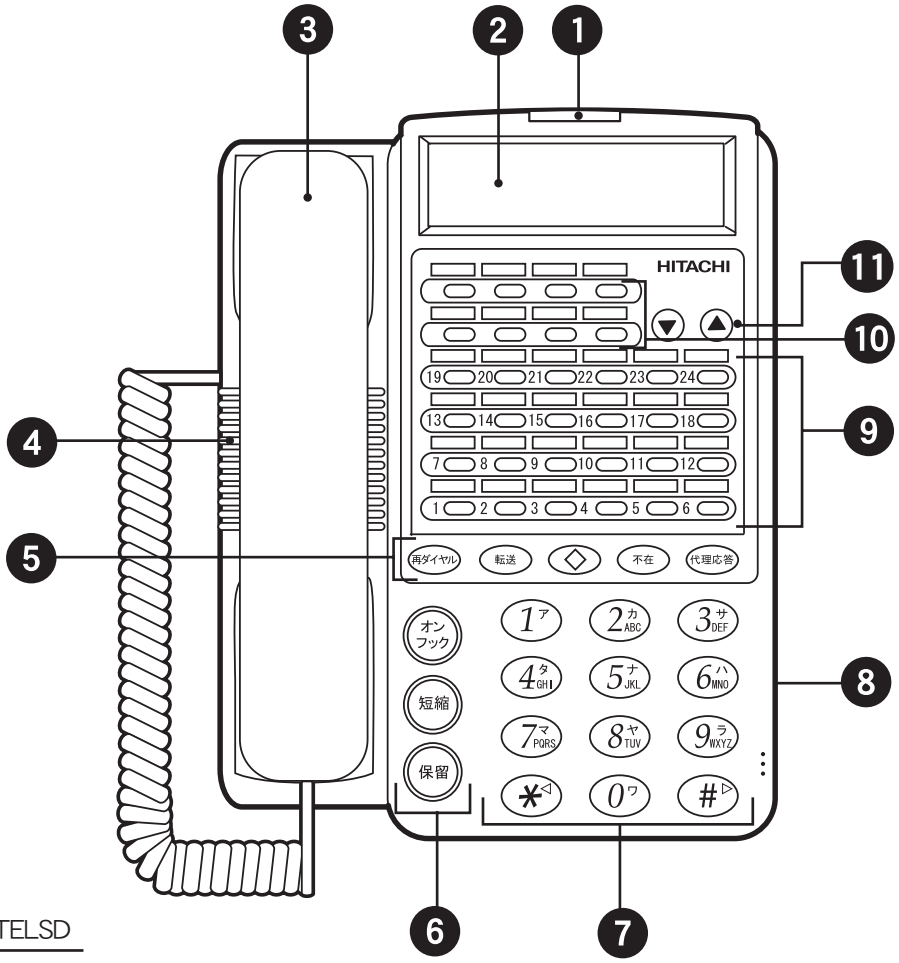
ハンズフリー付電話機
HI-24C-TELHF-N

受話器を置いたまま通話できます。また、ヘッドセットや録音装置を接続できます。

デジタルハンドルコードレス電話機
HI-24C-TELHC-N

子機（受話器）だけを持ち歩けます。

電話機（HI-「」C-TEL「」）の名称とはたらき

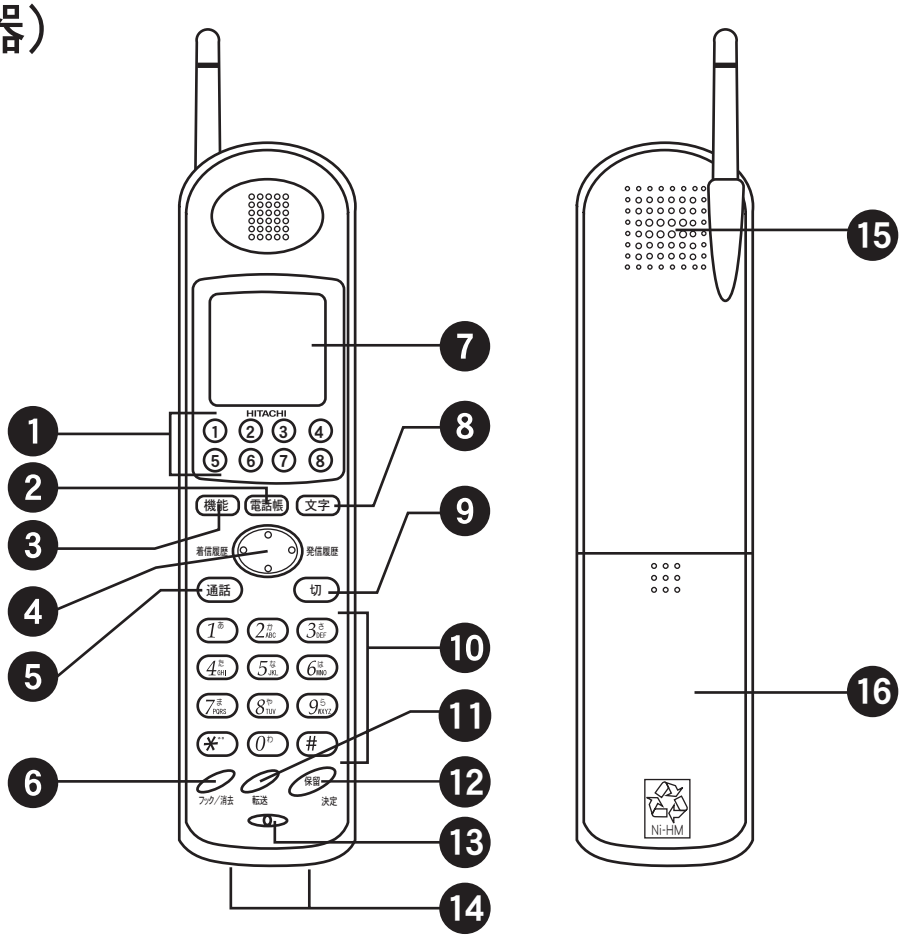


図はHI-32C-TELSD

❶	着信ランプ	電話がかかってくると点滅します。
❷	表示器	待機時は、内線番号、月日、曜日、時刻を表示します。通話時はダイヤルした番号、通話時間などを表示します。
❸	受話器	通話をするときに使います。
❹	スピーカ	各種信号音や音声が聞こえます。
❺	再ダイヤルボタン	最後にかけた相手先へもう一度かけるときなどに使います。
	転送ボタン	通話を他の内線に転送するときなどに使います。
	◇ボタン	誤ダイヤル時、捕捉している回線を一旦切るときなどに使います。工場出荷時はこの機能になっていますが、設定によって別機能にもなります。（販売店設定）
	不在ボタン	自席にかかってくる電話を行先きの内線に転送するとき、着信を拒否するときなどに使います。
	代理応答ボタン	グループ内に着信している電話を自席の電話機で受けるときに使います。
❻	オンフックボタン	受話器を置いたままダイヤルするときなどに使います。
	短縮ボタン	短縮ダイヤルでかけるときなどに使います。
	保留ボタン	通話を保留するときなどに使います。
❼	ダイヤルボタン	電話番号をダイヤルするときに使います。
❽	携帯端末接続コネクタ	携帯電話／PHSのメモリダイヤルをC-TELに読み込むときに専用ケーブルを接続します。
❾	フリーファンクションボタン	外線を収容します。空いているボタンは特殊機能ボタンとして利用できます。
❿	ワンタッチボタン	あらかじめ登録した相手先へワンタッチでかけるときに使います。
⓫	音量調節ボタン	・着信音が鳴っているとき、スピーカのモニタを聞いているとき、相手と通話しているときに押すと、それぞれの音量を調節できます。（▼：小さく▲：大きく） ・登録されている内容を選ぶときに使用します。

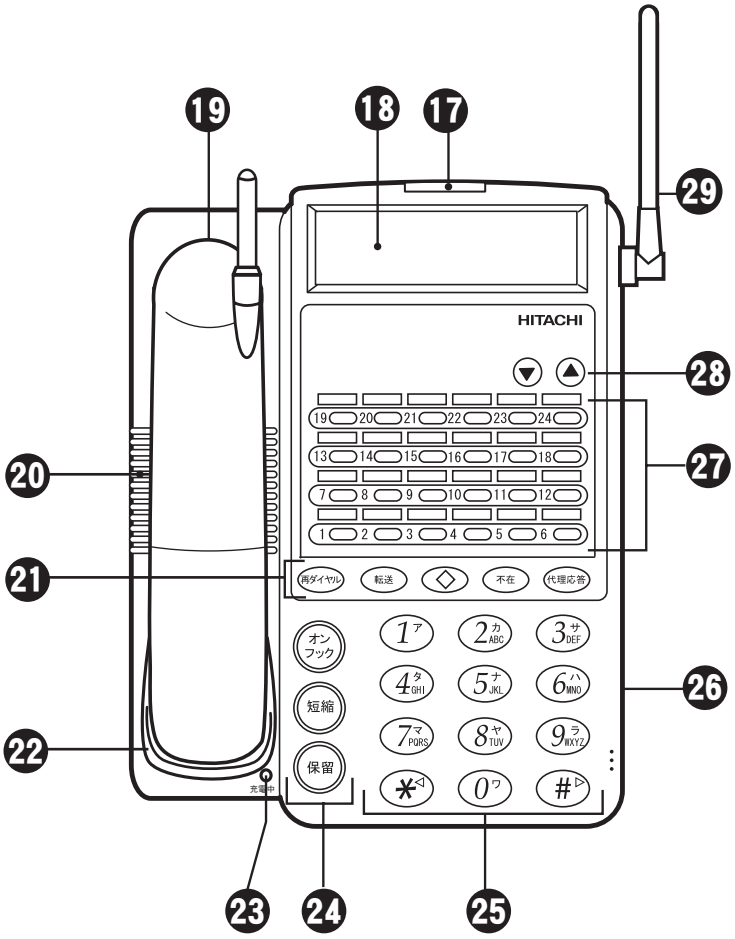
ディジタルハンドルコードレス電話機

子機（受話器）



❶	ボタン（ランプ）	・外線ボタンとして登録した場合は、親機の外線ボタン1～8に対応します。2色（赤／緑）のランプで状態を表示します。 ・クイックダイヤルボタンとしても登録できます。
❷	電話帳ボタン	電話帳を使用するときに使います。
❸	機能ボタン	設定や機能を選ぶときなどに使います。
❹	↑ ボタン	音量を大きくしたり、機能を選ぶときなどに使います。
	↓ ボタン	音量を小さくしたり、機能を選ぶときなどに使います。
	← ボタン	かかってきた電話の相手先へかけ直すときなどに使います。
	→ ボタン	電話をかけ直すときなどに使います。
❺	通話ボタン	通話を始めるときに使います。通話状態で点灯します。着信状態で点滅します。
❻	フック／消去ボタン	電話のかけ直しやキャッチホンの利用、または登録した内容を消去するときなどに使います。
❼	表示器	待機時は日時、子機の状態などが表示されます。 （日時の設定は子機独自のものです。親機の表示と異なる場合があります。設定で合わせてください。）
❽	文字ボタン	文字入力のときに使います。
❾	切ボタン	電話切るときなどに使います。
❿	ダイヤルボタン	電話をかけたり、文字を入力するときなどに使います。
⓫	転送ボタン	他の内線電話に転送するときなどに使います。
⓬	保留／決定ボタン	通話を自己保留したり、選択決定のときに使います。
⓭	マイク	相手と通話するときのマイクです。
⓮	充電端子	電池を充電するとき、親機の充電端子と接触させる部分です。
⓯	スピーカ	着信音などが聞こえるところです。
⓰	電池カバー	電池を交換するときに取り外します。

親機

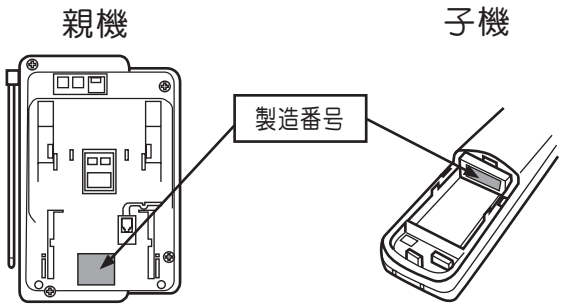


⑰	着信ランプ	電話がかかってくると点滅します。
⑱	表示器	待機時は、内線番号、月日、曜日、時刻を表示します。通話時はダイヤルした番号、通話時間などを表示します。
⑲	子機	通話をするときに使います。
⑳	スピーカ	各種信号音や音声が聞こえます。
㉑	再ダイヤルボタン	最後にかけた相手先へもう一度かけるときなどに使います。
	転送ボタン	通話を他の内線に転送するときなどに使います。
	◇ボタン	誤ダイヤル時、捕捉している回線を一旦切るときなどに使います。システム側（主装置）の着信履歴が記憶されると点滅します。
	不在ボタン	自席にかかってくる電話を行先きの内線に転送するとき、着信を拒否するときなどに使います。
	代理応答ボタン	グループ内に着信している電話を自席の電話機で受けるときに使います。
㉒	充電端子	子機を充電するときに子機を接続します。
㉓	充電中ランプ	子機が充電端子に正しく接続されると点灯します。（充電が完了しても点灯したままです。）
㉔	オンフックボタン	受話器を置いたままダイヤルするときなどに使います。
	短縮ボタン	短縮ダイヤルでかけるときなどに使います。
	保留ボタン	通話を保留するときなどに使います。
㉕	ダイヤルボタン	電話番号をダイヤルするときに使います。
㉖	携帯端末接続コネクタ	携帯電話／PHSのメモリダイヤルをC-TELに読み込むときに専用ケーブルを接続します。
㉗	フリーファンクションボタン	外線を収容します。空いているボタンは特殊機能ボタンとして利用できます。
㉘	音量調節ボタン	・着信音が鳴っているとき、スピーカのモニタを聞いているとき、それぞれの音量を調節できます。（▼：小さく▲：大きく） ・登録されている内容を選ぶときに使用します。
㉙	アンテナ	子機と通信を行います。

1. ご使用になる前に

製造番号を確認してください

● この電話機は他のコードレス電話機との混信防止のため、IDコード（識別符号）を採用しています。このために親機と子機がペアでなければ使用することができませんので、親機と子機の製造番号が合っていることを確認してください。



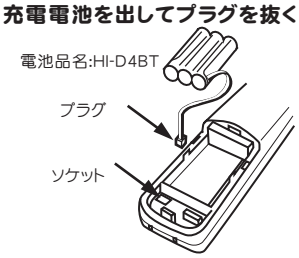
子機に電池を取り付けて充電してください

●初めて使用するときは、子機を親機に正しく乗せて必ず一度満充電させてください

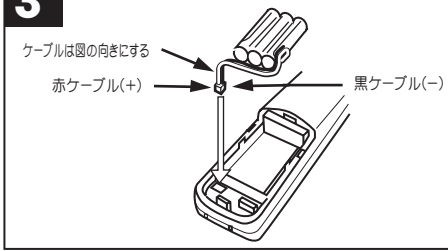
充電電池の取り付け方（交換のしかた）

1 電池カバーを開ける

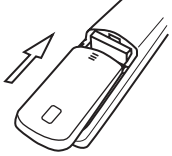
2 充電電池を出してプラグを抜く



3 新しい充電電池を入れプラグを差す

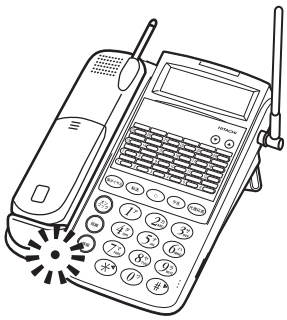


4 電池カバーを閉じる



充電電池の充電のしかた

1 充電電池を子機に取り付けて、充電をする



●子機を親機に正しく置くことにより充電できます。
●充電中は親機の充電中ランプが点灯します。

●満充電されても、充電中ランプは消えません。長時間子機を使用しない場合は、充電電池を外すことをおすすめします。
●完全に放電した充電電池を満充電にするには約12時間以上の充電が必要です。
●満充電後の子機使用時間は次のとおりです。なお、充電電池の寿命に近づくに従って満充電後の子機使用時間は短くなります。

・連続通話時間約5時間
・待機時間約200時間（親機に乗せていない状態）

⚠ 危険

●充電電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
●外装カバー（被覆、チューブなど）をはがさないでください。
●充電電池を分解しないでください。

ご注意

●充電電池のプラグを子機のソケットに差し込むときは向き等間違えないようにして、しっかり差し込んでください。
●専用の充電電池以外は使用しないでください。故障の原因となります。
●充電電池の寿命は使い方によって異なりますが、約1年程度使用できます。充電電池を交換するときは、お買い上げの販売店にて専用充電電池をお買い求めください。
●電池フタを閉じるときに、ケーブルをはさまないようにしてください。
●お買い上げの際には、まず充電電池を子機に取り付けて、充電を行ってください。
●逆向きに置くと充電されません。
●子機に充電電池を取り付けない状態で、充電操作をしないでください。故障の原因となります。

2．充電電池について

この電話機は、ニッケル水素電池を使用しています。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池の交換および使用済み電話機の廃棄に際しては、ニッケル水素電池を取り出してリサイクルにご協力ください。

※本文中の充電電池とはニッケル水素電池のことです。

3．取り扱い上の注意

コードレス電話機は電波を使用している関係上、コード付電話機に比べて周辺環境などの影響を受けやすくなっていますので以下の内容を一読してください。

●この電話機は、ディジタルコードレス電話専用の無線電波（周波数1.9GHz）を使用した、マルチチャネル（37通話チャネル、2制御チャネル）アクセス「MCA」方式のチャネル切替方式無線電話機です。
●この電話機は秘話機能盗聴防止を採用していますので盗聴が非常に困難ですので、安心して通話していただけます。ただし、第三者が特殊手段を講じた場合は完全に防止することはできません。
●この電話機は電波を使用している為、ほかの無線電話機または高周波雑音の影響を受け、混信したり雑音が入ることがあります。
●テレビ、ラジオおよび他の無線機等に妨害を与えた場合は、ご使用を停止してください。
●この電話機は、省電力タイプのディジタルコードレス電話機ですので、親機と子機を直線距離（見通しの良い場合）で約100m程度まで離しても通話できまする（ただし、環境によって変化しますので予めご了承ください。）
●ディジタルコードレス電話機で使用している電波は光に近い直線性をもっています。そのため、アナログタイプのコードレス電話機（HIT-HCL6など）よりも電波が届かない場合があります。ご利用を開始する前に、電波の届く範囲を確認してから親機の設置位置を決定してください。なお、配線の変更が必要な場合は、販売店にご依頼ください。アナログタイプのコードレス電話機（HIT-HCL6など）と混在させることは可能です。
●ディジタルハンドルコードレス多機能電話機の接続台数は、他のディジタルタイプのコードレス電話機を含めて1システムにおおよそ4～8台までです。ただし、電波の状況により、接続台数が制限される場合があります。複数台数設置する場合は、各親機の間隔を2m以上離してください。
●ディジタルハンドルコードレス電話機と事業所用PHSシステムは同じ周波数の電波を使用するため、1システム内で混在して使用する場合は次のようなことがありますのでご了承ください。

> 事業所用PHSシステムでは、基地局と子機間の発信や着信などの情報のやり取りは、最初に無線の制御チャネルで通信を行い、その後通話チャネルに移行します。この制御チャネルは2チャネルあり、通信は全ての基地局と子機の間で百数十ms間隔で順番に次々と行われ、重ならないように制御されています。しかし、ディジタルハンドルコードレス電話機では独自の通信タイミングとなるため、電波の混み合った密度の高い場所では、先に電波が発信されていると電波を出せなくなるため、接続が遅れたり接続できなかったりします。また、通話チャネルに移行した後、すでに同じ周波数で別のタイミングで通話が行われていた場合に、タイミングが少しずつずれて衝突が起こると、音声の途切れが起こります。

●通話中の電波の状態によって音声が低くなったり、雑音が入ったりすることがあります。このような場合は身体の向きを変えたり、場所を変えることによって改善されることがあります。
●テレビやOA機器などの近くで使用すると、電気雑音の影響を受けることがあります。
●他の無線電話機または高周波雑音の影響を受け、混信したり雑音が入ることがあります。
●コードレス電話機は電波を使用している関係上、動作時間がコード付電話機よりも1～2秒間遅れる場合があります。
●コードレス電話機の不法改造は法律で禁じられています。
●HI-C-TELの電話機はマルチ接続で使用いただけますが、コードレス電話機はマルチ接続はできません。
●この電話機は、電波法施行規則第6条の規則下で運用されるものです。

目次

- ご使用の前に ・・・ 2
- 安全のために必ずお守りください ・・・ 3
- ご使用にあたって ・・・ 5
- 各部の名称とはたらき ・・・ 6
  - •多機能電話機の種類 ・・・ 6
  - •電話機(HI-「」C-TEL「」)の名称とはたらき ・・・ 7
  - •ディジタルハンドルコードレス電話機 ・・・ 8
- 目次 ・・・ 12

第1章 基本操作

外線

- 受話器を上げてかける(オフフックダイヤル) ・・・ 16
- 受話器を置いたままかける(オンフックダイヤル) ・・・ 16
- システム短縮ダイヤルでかける(システム短縮ダイヤル) ・・・ 16
- 可変短縮ダイヤルでかける(可変短縮ダイヤル) ・・・ 16
- ワンタッチダイヤルでかける(ワンタッチダイヤル) ・・・ 18
- 最後にかけた相手に再度かける(ラストナンバーリダイヤル) ・・・ 18
- 電話を受ける(外線応答) ・・・ 18
  - ① 回線対応ごとのボタンで受ける(ストレートライン応答) ・・・ 18
  - ② 自テナントの着信を1つのボタンで集中して受ける(自テナントバーチャルライン応答) ・・・ 19
  - ③ 他テナントの着信をボタンで受ける(他テナントバーチャルライン応答) ・・・ 19
- 通話保留時どの電話機からでも戻れるようにする(一般保留) ・・・ 19
- 通話中の相手を他の内線に転送する(転送) ・・・ 20
  - ① 近くの人に転送する(保留転送) ・・・ 20
  - ② 遠くの人に用件を伝えた後転送する(自動転送) ・・・ 20

内線

- 受話器を上げてかける(オフフックダイヤル) ・・・ 21
- 受話器を置いたままかける(オンフックダイヤル) ・・・ 21
- ワンタッチダイヤルでかける(ワンタッチダイヤル) ・・・ 21
- 相手を音声で呼び出す(音声呼出し) ・・・ 21
- 電話を受ける(内線応答) ・・・ 22
- 通話中の相手を他の内線に転送する(転送) ・・・ 22

第2章 便利な機能

外線

- 外線発信した電話番号を一時記憶させせる(セーブダイヤル) ・・・ 24
- NCC(新電電各社)回線を利用してかける(LCR発信) ・・・ 25
  - ① LCR機能を利用する(国内LCR発信) ・・・ 25
  - ② 国際LCR機能を利用する(国際LCR発信) ・・・ 25
- 通話中にプッシュ(PB)信号を出す(PB信号送出) ・・・ 25

内線

- 相手が話中のため別の内線にかける(リセットコール) ・・・ 26
- 相手が話中のためそのまま通話終了を持つ(オフフックキャンプオン) ・・・ 26
- 相手が話し終ったら自動的に呼出す(オンフックキャンプオン) ・・・ 26
- グループ内の電話着信を自席の電話で受ける(代理応答) ・・・ 27
- 相手が席に戻ったら相手から電話をもらう(留守中着信表示) ・・・ 27
- 連絡を待っている相手に簡単な操作でかける(留守中着信自動呼出し) ・・・ 27
- 不在中にかけてきた内線にメッセージで知らせる(不在メッセージ) ・・・ 28
- 予定の時刻にアラームを鳴らす(アラーム設定) ・・・ 28

外線・内線

- 不在中にかかってくる電話を他の内線に自動転送する(可変不在転送) ・・・ 29
- 通話保留時その電話機からしか戻れないようにする(自己保留) ・・・ 29
- 一時電話がかかってこないようにする(着信拒否) ・・・ 30
- 通話を個別に保留する(共通保留) ・・・ 30

第3章 付加機能

● 通話中に割込んできた電話に応答する（通話中着信表示）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
● 三人で話す（三者通話）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
① 外線1人と内線2人で通話する（1外線三者通話）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
② 外線2人と内線1人で通話する（2外線三者通話）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
③ 内線3人で通話する（内線三者通話）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
● DSS(ワンタッチ呼出装置)を使う（DSS）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
● ヘッドセットで通話する（ヘッドセット通話）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

第4章 各電話機からの登録操作

● 可変短縮ダイヤルを登録する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
1 グループ可変短縮ダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
① かけるときに特番が必要な場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
② 外線に直接かけられる場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
③ 親交換機を通してかける場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
④ 通話中の状態からPB信号を出す場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
2 個人可変短縮ダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
① かけるときに特番が必要な場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
② 外線に直接かけられる場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
③ 親交換機を通してかける場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
④ 通話中の状態からPB信号を出す場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
● 相手先をワンタッチボタンに登録する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
● 短縮番号の内容をワンタッチボタンに登録する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
● 自己保留ボタンを設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44

第5章 特定電話機からの登録操作

● 特定電話機とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
● 日付を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
● 時刻を設定する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
● システム短縮ダイヤルを登録する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47
① かけるときに特番が必要な場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48
② 外線に直接かけられる場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48
③ 親交換機を通してかける場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48
④ 通話中の状態からPB信号を出す場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49

第6章 その他の電話機

ハンズフリー付電話機（HI-24C-TEL HF）

● 外線にかける（外線発信）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52
● 外線からの電話を受ける（外線応答）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52
● 内線にかける（内線発信）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
● 内線からの電話を受ける（内線応答）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
● ヘッドセットで通話する（ヘッドセット通話）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54
① ユニバーサルモジュラーアダプタを使う場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54
② スイッチボックスを使う場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
● 通話を録音する（通話録音）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
● 高音量ベルを使う（高音量ベル）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
● スピーカ付アンプを使う（スピーカ付アンプ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56

アナログポート付電話機（HI-24C-TEL OA）

● データ通信をする（モデム接続）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57

停電直通用電話機（HI-24C-TEL PF）

● 外線にかける（外線発信） ・・・・・・・・・・ 58
● 外線からの電話を受ける（外線応答） ・・・・・・・・・・ 58

INS64停電直通用電話機（HI-24C-TEL PFI）

● 外線にかける（外線発信） ・・・・・・・・・・ 59
● 外線からの電話を受ける（外線応答） ・・・・・・・・・・ 59

第7章 電話機独自機能

●電話機独自機能のご使用にあたって ・・・・・・・・・・ 62
● 携帯電話機のメモリダイヤルを読込ませる（メモリダイヤル読込） ・・・・・・・・・・ 63
● 読み仮名で電話帳を検索して電話をかける（読み仮名検索） ・・・・・・・・・・ 65
● グループ番号で電話帳を検索して電話をかける（グループ番号検索） ・・・・・・・・・・ 66
● 電話帳の登録番号を消去する（電話帳番号消去） ・・・・・・・・・・ 67
● 電話帳に電話番号と名前を登録する（電話帳登録） ・・・・・・・・・・ 68
● 電話帳を編集する（電話帳編集） ・・・・・・・・・・ 69
● 発着信履歴から電話をかける（発着信履歴発信） ・・・・・・・・・・ 70
● 発着信履歴を消去する（発着信履歴消去） ・・・・・・・・・・ 71
● 発着信履歴から電話帳に登録する（発着信履歴電話帳登録） ・・・・・・・・・・ 72
● ワンタッチダイヤルを登録する（ワンタッチダイヤル登録） ・・・・・・・・・・ 73
● アラームを設定する（アラーム設定） ・・・・・・・・・・ 74
● 電話機の設定（電話機設定） ・・・・・・・・・・ 75

第8章 その他

● 電話機の角度を変える ・・・・・・・・・・ 80
● こんなメッセージが出たら ・・・・・・・・・・ 81
● 主な仕様 ・・・・・・・・・・ 81

第1章

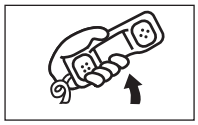
基本操作

この章は、基本的な電話機の使い方についての説明です。

外線 基本操作

受話器を上げてかける

・・
オフフックダイヤル



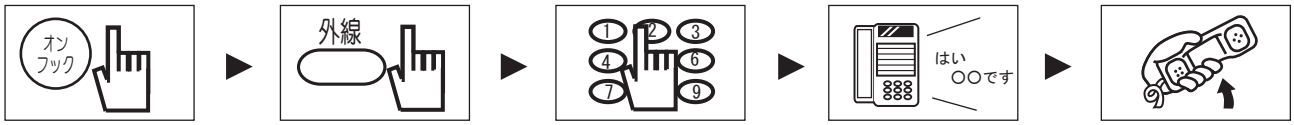
1. 受話器を上げる。
・内線発信音(ツーツーツー)が聞こえます。

2. 空いている外線ボタンを押す。
・外線ランプが緑点灯になり、外線発信音(ツー)が聞こえます。

3. 相手番号をダイヤルする。

受話器を置いたままかける

・・
オンフックダイヤル



1. オンフックボタンを押す。
・オンフックランプが点灯し、内線発信音(ツーツーツー)が聞こえます。

2. 空いている外線ボタンを押す。
・外線ランプが緑点灯になり、外線発信音(ツー)が聞こえます。

3. 相手番号をダイヤルする。

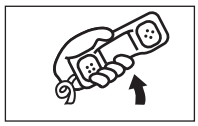
4. スピーカで相手の応答を確認する。

5. 受話器を上げる。

システム短縮ダイヤルでかける

システム短縮ダイヤル

全内線が共通で使える短縮ダイヤルです。



▶ 発信操作をする

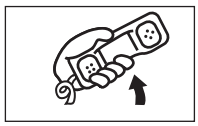
1. 受話器を上げる。
・内線発信音(ツーツーツー)が聞こえます。

● 発信操作は取り付け時、販売店により設定されます(発信操作P.17)。
● あらかじめ相手先を登録してください(登録P.48)。

可変短縮ダイヤルでかける

可変短縮ダイヤル

グループ用と個人用があります。どちらか選択です。なお、システム短縮ダイヤルとは別枠で使用できます。



▶ 発信操作をする

1. 受話器を上げる。
・内線発信音(ツーツーツー)が聞こえます。

● 発信操作は取り付け時、販売店により設定されます(発信操作P.17)。
● あらかじめ相手先を登録してください(登録P.38)。

システム短縮／可変短縮ダイヤルの発信操作

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する「システム短縮ダイヤル」と、これとは別枠で使用できる「可変短縮ダイヤル」があります。可変短縮ダイヤルには、グループを組んだ中だけで使用する「グループ用」と、各内線が独自に使用する「個人用」があります。これらはどちらか選択になっています。

この内容を販売店に確認してください

システム短縮ダイヤルの場合

1. 発信操作方法は、①②③のどれになっているか。
設定によって複数利用することもできます。

2. 登録相手数の最大数はいくつか。
最大数によって短縮番号の桁数（×××）が変わります。

可変短縮ダイヤルの場合

1. 利用できるのは、グループ用か個人用か。
どちらか選択になっています。

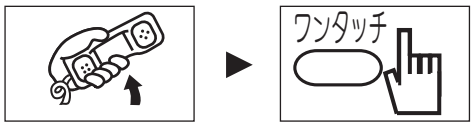
2. 発信操作方法は、①②③のどれになっているか。

3. 登録相手数の最大数はいくつか。
最大数によって短縮番号の桁数（××）が変わります。

	短縮ダイヤル		
	システム短縮ダイヤル	可変短縮ダイヤル	
		グループ用	個人用
発信操作	① 短縮+××× ② 短縮+＊+××× ③ 短縮+＃+×××	① 短縮+×× ② 短縮+＊+×× ③ 短縮+＃+××	
	下線の部分が短縮番号です。登録のとき 、＊、 #も一緒に入力してください。		
短縮番号	●短縮番号の桁数は、最大相手先登録数によって変わります。 （例） ■10件のとき　：0（1件目）～9（10件目） ■100件のとき　：00（1件目）～99（100件目） ■1, 000件のとき　：000（1件目）～999（1, 000件目） ※ システム短縮ダイヤルは最大1, 000件です。 ※ 可変短縮ダイヤルは最大100件です。		

ワンタッチダイヤルでかける

ワンタッチダイヤル



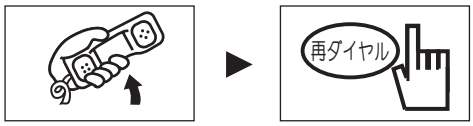
1. 受話器を上げる。　2. ワンタッチボタンを押す。

・内線発信音(ツーツーツー)が聞こえます。

● 外線が収容されていない空きボタンをワンタッチダイヤルボタンとして使用します
● あからじめワンタッチボタンに外線相手を登録してください（登録P.43）。

最後にかけた相手に再度かける

ラストナンバーリダイヤル



1. 受話器を上げる。　2. 再ダイヤルボタンを押す。

・内線発信音(ツーツーツー)が聞こえます。

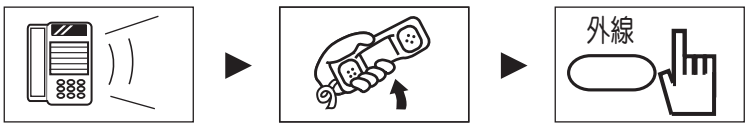
・捕捉した外線ランプは緑点灯になります。

● 「セーブダイヤル（P. 24）」を有効にすると、本機能は使用できなくなります。
● 本機能でかけることができる相手先（①外線のみ ②外線・専用線 ③外線・専用線・内線）は取り付け時に設定されます。
販売店に確認してください。

電話を受ける

外線応答

① 回線対応ごとのボタンで受ける（ストレートライン応答）



着信音が鳴り、外線ランプが赤の速い点滅になります。

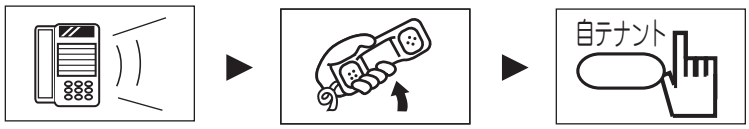
1. 受話器を上げる。

2.赤の速い点滅をしている外線ボタンを押す。

・外線ランプが緑点灯になります。

● 着信時、外線ランプが緑の速い点滅のときは、受話器を上げると即応答になります。

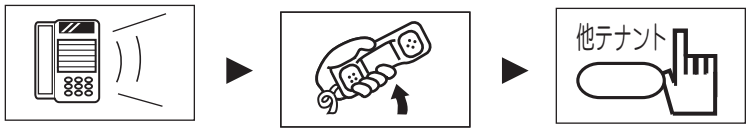
② 自テナントの着信を1つのボタンで集中して受ける（自テナントバーチャルライン応答）



着信音が鳴り、自テナントの着信ランプが赤の速い点滅になります。

1. 受話器を上げる。　2.赤の速い点滅をしている自テナントの応答ボタンを押す。

③ 他テナントの着信をボタンで受ける（他テナントバーチャルライン応答）



着信音が鳴り、他テナントの着信ランプが赤の速い点滅になります。

1. 受話器を上げる。　2.赤の速い点滅をしている他テナントの応答ボタンを押す。

通話保留時どの電話機からでも戻れるようにする

一般保留

（通話に戻るとき）

通話中に…

1. 保留ボタンを押す。
・外線ランプが緑の点滅になります。

2. 受話器を戻す。

3.受話器を上げる。
・内線発信音(ツーツーツー)が聞こえます。

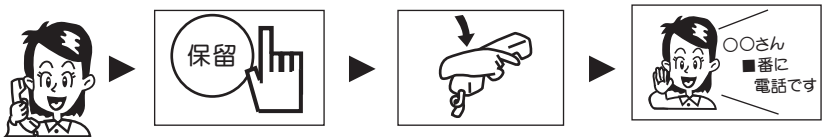
4. 緑点滅の外線ボタンを押す。

- この方法で保留すると、保留した電話機以外の電話機からでも保留を解除できます。
- 保留中は相手にメロディが流れます。

通話中の相手を他の内線に転送する

転送

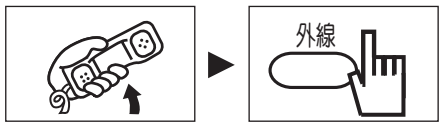
① 近くの人に転送する（保留転送）



通話中に…

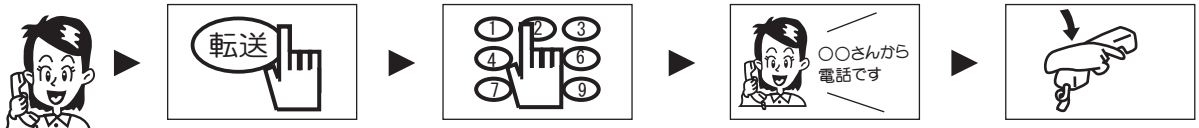
1. 保留ボタンを押す。
   ・外線ランプが緑の点滅になります。
2. 受話器を戻す。
3. 相手に転送の旨を伝える。

（転送を受ける人）



1. 受話器を上げる。
2. 赤点滅している外線ボタンを押す。

② 遠くの人に用件を伝えた後転送する（自動転送）



通話中に…

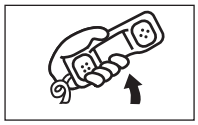
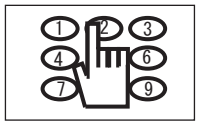
1. 転送ボタンを押す。
   ・プップ…と聞こえます。
2. 転送先の内線番号をダイヤルする。
3. 相手に転送の旨を伝える。
4. 受話器を戻す。

● 操作3. で、相手が話中、または応答がないときは、再度、転送ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。

内線 基本操作

受話器を上げてかける

・・
オフフックダイヤル

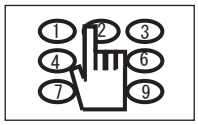



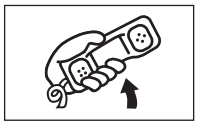
1. 受話器を上げる。
・内線発信音(ツーツーツー)が聞こえます。

2. 相手番号をダイヤルする。

受話器を置いたままかける

・・
オンフックダイヤル





1. オンフックボタンを押す。
・オンフックランプが赤点灯し、内線発信音(ツーツーツー)が聞こえます。

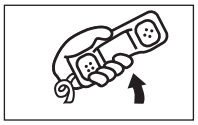
2. 相手番号をダイヤルする。

3. スピーカで相手の応答を確認する。

4. 受話器を上げる。

ワンタッチダイヤルでかける

ワンタッチダイヤル



1. 受話器を上げる。
・内線発信音(ツーツーツー)が聞こえます。

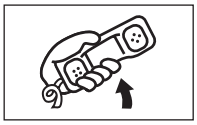
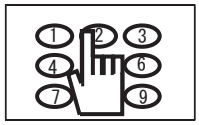
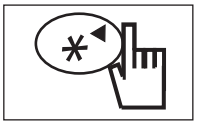
2. 内線ワンタッチボタンを押す。

● 空いている外線ボタンを内線ワンタッチダイヤルボタンとして使用します。
● あらかじめ内線相手先を登録してください（登録P.43）。

相手を音声で呼び出す

音声呼出し

相手電話機のスピーカから話しかけることができます。

1. 受話器を上げる。
・内線発信音(ツーツーツー)が聞こえます。

2. 相手番号をダイヤルする。

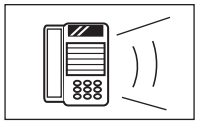
3. 呼出し音が聞こえているときに＊を押す。
・冒頭音(ブーッ)が聞こえます。

4. 相手を呼び出す。

● 操作3. で＊を押す毎に、音声呼び出しと信号音呼び出しとが交互に替わります。
● 本機能を利用できるのは、相手の電話機が多機能電話機の場合だけです。

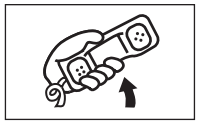
電話を受ける

内線応答



着信音が鳴る。

・オンフックランプが速い点滅になります。



1. 受話器を上げる。

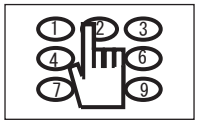
通話中の相手を他の内線に転送する

転送

通話中に…

1. 転送ボタンを押す。

・プップ…と聞こえます。



2. 転送先の内線番号をダイヤルする。

3. 相手に転送の旨を伝える。

4. 受話器を戻す。

● 操作3. で、相手が話中、または応答がないときは、再度、転送ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。

第2章

便利な機能

この章は、電話機をさらに使うためにある便利な機能についての説明です。

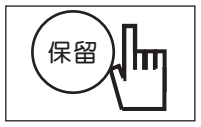
外線 便利な機能

外線発信した電話番号を一時記憶させる

セーブダイヤル

外線にかけたとき、再度その相手にかける可能性がある場合には、次の操作をすると、ダイヤルした番号を一時記憶させておけます。何度でも発信できるため一時的なワンタッチボタンとして便利です。

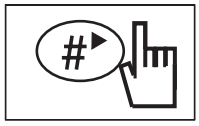
登録



1. 受話器を置いたまま保留ボタンを押す。

2. 再ダイヤルボタンを押す。
   - 再ダイヤルランプが赤点灯します。
   - 直前にかけた先の電話番号が表示されます。

3. セーブダイヤルボタンを押す。
   - セーブダイヤルランプが赤点灯します。
   - 直前にかけた先の電話番号が登録されます。



4. #ボタンを押す。

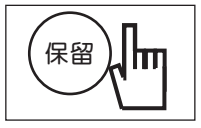
● 空いている外線ボタンをセーブダイヤルボタンとして使用します（販売店設定）。

発信

1. 受話器を置いたまま再ダイヤルボタンを押す。

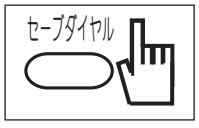
登録されてる番号が自動的にダイヤルされます。

解除

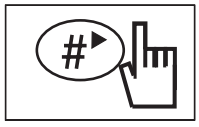


1. 受話器を置いたまま保留ボタンを押す。

2. 再ダイヤルボタンを押す。



3. セーブダイヤルボタンを押す。
   - セーブダイヤルランプが消えます。



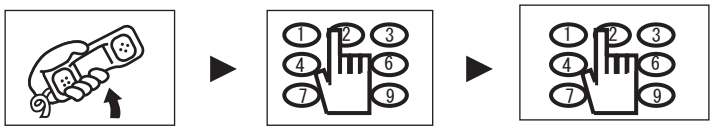
4. #ボタンを押す。

ＮＣＣ（新電電各社）回線を利用してかける

LCR発信

① LCR機能を利用する（国内LCR発信）

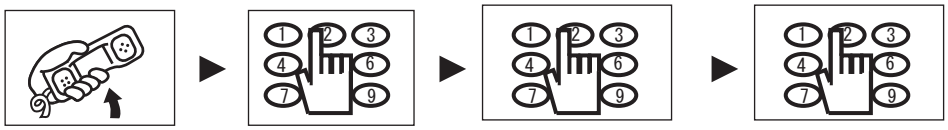
市外に電話をかけるとき、NTT、NCC各社の料金を比較し、最も安い回線を自動的に選択してダイヤルします。



1. 受話器を上げる。
2. 国内LCR発信特番をダイヤルする。
3. 相手番号をダイヤルする。

② 国際LCR機能を利用する（国際LCR発信）

海外に電話をかけるとき、KDD、第2KDDの料金を比較し、安い方の回線を自動的に選択してダイヤルを送出します。



1. 受話器を上げる。
2. 国際LCR発信特番をダイヤルする。
3. 国番号をダイヤルする。
4. 相手番号をダイヤルする。

通話中にプッシュ（ＰＢ）信号を出す

PB信号送出

ダイヤル回線を利用している場合でも、銀行の残高照会など、プッシュ（PB）信号を必要とするサービスを利用できます。

通話中に…

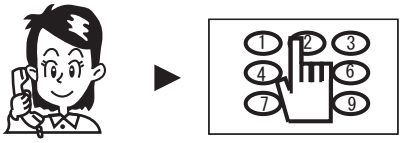
1. ＊ボタンを押す。
   ・ダイヤルパルスからプッシュ信号に替わります。
2. ダイヤルする。
   ・プッシュ信号でダイヤルされます。

内線 便利な機能

相手が話中のため別の内線にかける

リセットコール

かけた先の内線が話し中または応答がないとき、別の末尾番号1桁をダイヤルすると、末尾番号の違う内線を呼び出せます。一旦電話を切って再度かけ直す手間が省けます。



<例> 内線310が話中 → 2をダイヤル →内線312を呼び出します。

相手が話中のためそのまま通話終了を待つ

・・
オフフックキャンプオン

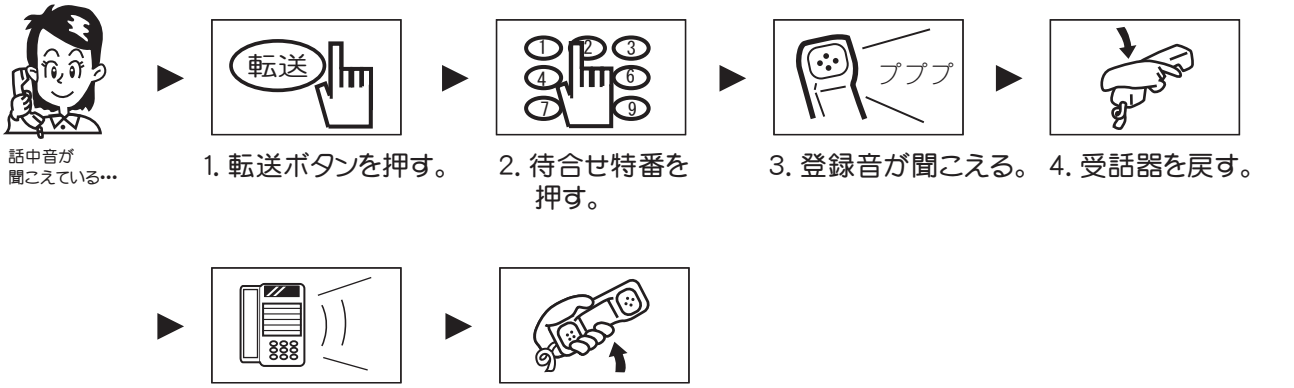
かけた先の内線が話し中のとき、そのまま待っていると相手が受話器を戻した時点で自動的に呼び出しを開始します。

● 本機能と「オンフックキャンプオン」(下記)はどちらか選択です(販売店設定)。

相手が話し終ったら自動的に呼出す

・・
オンフックキャンプオン

かけた先の内線が話し中のとき、この登録をしておくと相手が話し終り次第呼び出します。

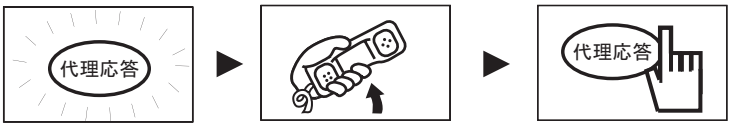


● 本機能と「オフフックキャンプオン」(上記)はどちらか選択です(販売店設定)。

グループ内の電話着信を自席の電話で受ける

代理応答

代理応答グループ内にかかってきた電話は、自席の電話機で応答できます。



代理応答ランプが早い点滅になる。　1. 受話器を上げる。　2. 代理応答ボタンを押す。

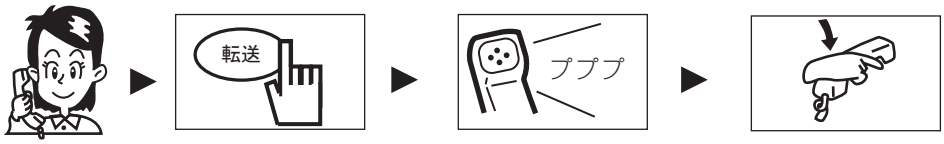
● 代理応答グループは取付け時に設定されます(販売店設定)。

相手が席に戻ったら相手から電話をもらう

留守中着信表示

内線に電話をかけた際に応答がないとき、次の操作をしておくと相手の電話機にこちらの内線番号を表示させておくことができます。相手が席に戻ったら、相手から電話をかけてもらうことができます。

セット



呼び出し中に‥　1. 転送ボタンを押す。　2. 登録音が聞こえる。　3.受話器を戻す。

相手の電話機

着 信 あ り	23	10:40
2000		
23日(金)	15:00	3000

・転送ランプが遅い点滅になります。

連絡を待っている相手に簡単な操作でかける

留守中着信自動呼出し

「着信あり」と表示されている場合は、内線相手が電話を待っているときです。このとき簡単な操作でその相手に電話をかけることができます。

着 信 あ り	23	10:40
2000		
23日(金)	15:00	3000

・転送ランプが遅い点滅になり、相手の内線番号が表示されます。

1. 受話器を上げる。　2. 転送ボタンを押す。

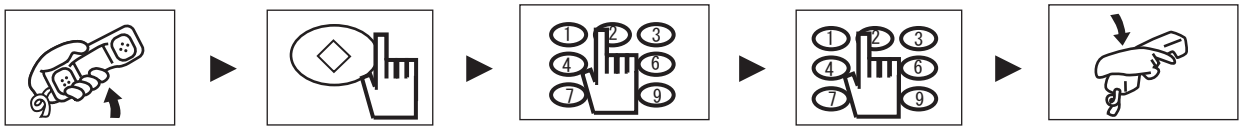
● 留守中着信の受付は最大5件です。
● 2件以上受付けているとき、この操作でダイヤルされるのは、留守中着信表示の内線番号です。
● 2件以上受付けしているとき、受話器を置いたまま転送ボタンを押すと、2件目の内線番号を表示します。
● 受付ている内線番号表示を消すときは、受話器を置いたまま不在ボタンを押してください。

不在中にかけてきた内線にメッセージで知らせる

不在メッセージ

席を外すときや出張などの際に次の操作をしておくと、この間に電話をかけてきた相手電話機の表示器にメッセージで知らせることができます。

登録

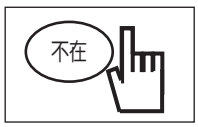


1. 受話器を上げる。
2. ◇ボタンを押す。
   ・◇ランプが赤点灯します。
3. 不在メッセージ番号(1〜0)を押す。
4. 表示にそって時・分・日付などを入力する。
5. 登録音(プププ)聞こえたら受話器を戻す。
   ・不在ランプは点灯したままです。

●操作3. の入力　●操作4. の入力

不在メッセージ番号	表 示 内 容
1	「××時」:「××分」 まで 不在
2	「××時」:「××分」 に 戻ります
3	「××日付」日 まで 休み
4	「××日付」日 まで 出張
5	「××日付」日 に 出社
6	「××内線番号」で 会議中
7	「××時」:「××分」 まで 休憩中
8	「××時」:「××分」 まで 食事中
9	「××時」:「××分」 まで 外出中
0	帰宅しました

解除



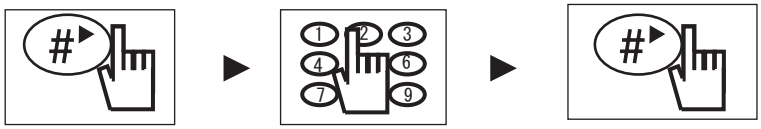
1. 受話器を置いたまま不在ボタンを押す。
   ・不在ランプが消えます。

予定の時刻にアラームを鳴らす

アラーム設定

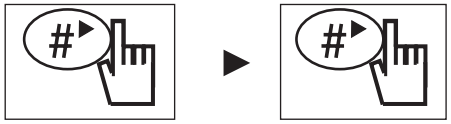
あらかじめ時刻をセットしておくと、その時刻になるとアラームが鳴ります。

設定



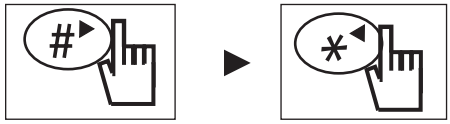
1. 受話器を置いたまま #ボタンを押す。
2. 「時分」を入力する。
3. #ボタンを押す。
   ・「:」が「*」表示に変わります。

確認



1. 受話器を置いたまま #ボタンを押す。
2. #ボタンを押す。

解除



1. 受話器を置いたまま #ボタンを押す。
2. ＊ボタンを押す。

● 設定時刻になるとアラームが約30秒間鳴ります。途中で止めるときは＊ボタンを押してください。

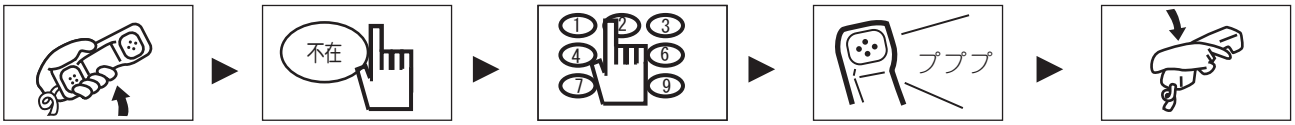
外線・内線 便利な機能

不在中にかかってくる電話を他の内線に自動転送する

可変不在転送

他の場所で打合わせなどをするときに、本操作をしておくと、自席にかかってくる電話は自動的に登録先の内線に転送されます。

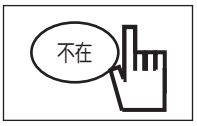
登録



1. 受話器を上げる。
2. 不在ボタンを押す。
   ・不在ランプが赤点灯します。
3. 行先きの内線番号をダイヤルする。
4. 登録音を確認する。
5. 受話器を戻す。
   ・不在ランプは赤点灯したままです。

● 操作4. の後、そのまま待っていると登録先の相手を呼び出します。

解除



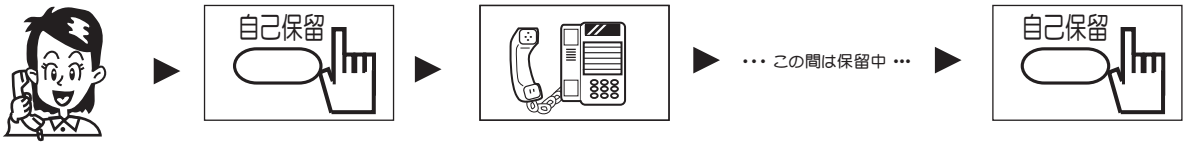
1. 受話器を置いたまま不在ボタンを押す。
   ・不在ランプが消えます。

通話保留時その電話機からしか戻れないようにする

自己保留

自分が保留した通話を、他の人が間違えて取らないようにしておくことができます。

登録



通話中に‥

1. 自己保留ボタンを押す。
   ・自己保留ランプが緑点灯になります。
2. 受話器を外しておく。

解除

3. 自己保留ボタンを押す。
   ・自己保留ランプが消えます。

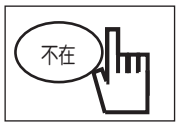
● 外線が収容されていない空きボタンを、自己保留ボタンとして使用します(販売店設定)。
● この方法で保留すると、保留した電話機からのみ保留を解除できます。
● 保留中は相手にメロディが流れます。
● 操作2. で受話器を戻してしまうと呼び返し音が鳴ります。このときは、受話器を上げて、再度保留操作をしてください。

一時電話がかかってこないようにする

着信拒否

電話を一時受けたくないとき、これを登録しておくと、その間は着信を拒否できます。

登録



1. 受話器を置いたまま不在ボタンを押す。
・不在ランプが点灯します。

● 着信拒否を登録中に、電話をかけてきた相手は下記の音が聞こえます。

着信の種類	相手が聞こえる音
内線着信	話中音またはリオーダ音
外線転送着信	
個別着信	呼び出し音
DI（ダイヤルイン）着信	呼び出し音または話中音
DIL（ダイレクトインライン）着信	呼び出し音
DID（ダイレクトインダイヤル）着信	呼び出し音または話中音

解除

1. 受話器を置いたまま不在ボタンを押す。
・不在ランプが消えます。

通話を個別に保留する

共通保留

通話を個別に保留できるため、複数の通話が保留されていても間違えずに目的の相手に戻れます。

通話中に・・

1. 共通保留ボタンを押す。
・保留が入ったところの共通保留ランプが緑点滅になります。

2. 受話器を戻す。

3. 受話器を上げる。

4. 緑点滅している共通保留ボタンを押す。

● 外線が収容されていない空きボタンを、共通保留ボタンとして使用します（販売店設定）。

第3章

付加機能

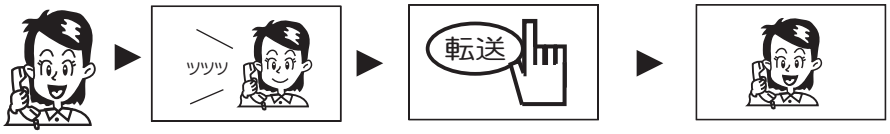
この章は、電話機の付加機能についての説明です。

付加機能

通話中に割込んできた電話に応答する

通話中着信表示

内線(A)と通話中に内線(B)から電話がかかってくると、特殊な着信音が聞こえます。通話中の相手に待ってもらい、かかってきた電話に応答できます。



内線(A)と通話中・・・

1. 内線(B)から着信が入る。
・転送ランプが速い点滅になります。

2. 転送ボタンを押す。

3. 内線(A)が保留され、内線(B)との通話になります。

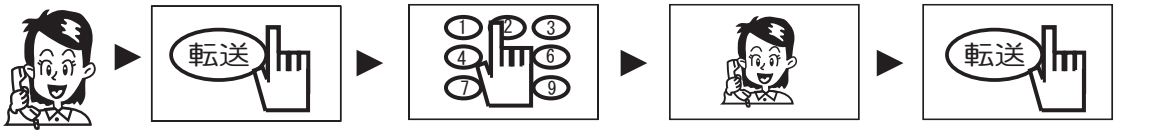
● 操作3. の後で、転送ボタンを押すと、内線(B)が保留されて内線(A)との通話になります。転送ボタンを押すごとに通話相手が変わります。

三人で話す

三者通話

① 外線一人と内線二人で通話する（1外線三者通話）

外線と通話中に、内線相手を呼び出して三人で通話できます。



外線と通話中に…

1. 転送ボタンを押す。
・プップ・・・と聞こえます。

2. 呼出す相手内線番号を押す。

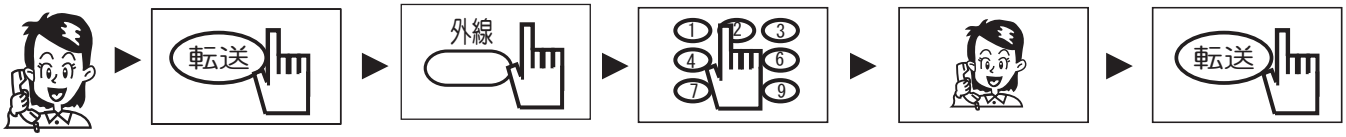
3. 相手にその旨を伝える。

4. 転送ボタンを押す。
・三人で通話できます。

● 相手の応答がないときは転送ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。
● 操作4. の後、転送ボタンを押すごとに [外線との二者]→[三者]→[内線との二者]→[三者]に変わります。
● 三者通話を始めた人が受話器を戻すと、あとの二人どうしの通話になります。

② 外線二人と内線一人で通話する（二外線三者通話）

外線(A)と通話中に、もう一人の外線(B)を呼び出して三人で通話できます。



外線と通話中に…

1. 転送ボタンを押す。
・プップ・・・と聞こえます。

2. 外線ボタンを押す。

3. 相手番号を押す。

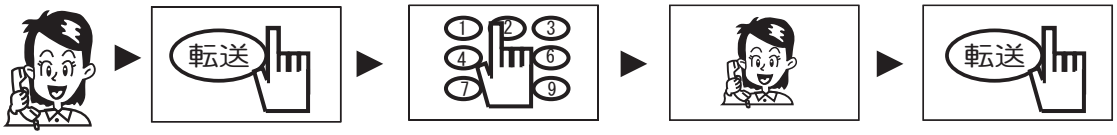
4. 相手にその旨を伝える。

5. 転送ボタンを押す。
・三人で通話できます。

● 相手の応答がないときはキャンセルボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。
● キャンセルボタンは、外線が収容されていない空きボタンに登録します(販売店設定)。
● 操作5. の後、転送ボタンを押すごとに [外線(A)との二者]→[三者]→[外線(B)との二者]→[三者]に変わります。

③ 内線三人で通話する（内線三者通話）

内線（A）と通話中に、もう一人の内線（B）を呼び出して三人で通話できます。



内線と通話中に…

1. 転送ボタンを押す。
・プップ・・・と聞こえます。

2. 呼出す相手内線番号を押す。

3. 相手にその旨を伝える。

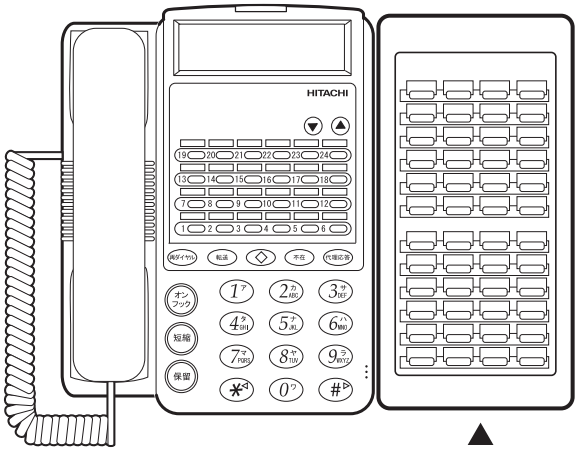
4. 転送ボタンを押す。
・三人で通話できます。

- 相手の応答がないときは転送ボタンを押してください。待たせている相手に戻れます。
- 操作4. の後、転送ボタンを押すごとに [内線（A）とのニ者]→[三者]→[内線（B）とのニ者]→[三者]に変わります。
- 三者通話を始めた人が受話器を戻すと、あとの二人どうしの通話になります。

DSS(ワンタッチ呼出装置)を使う

DSS

本機器のボタン（48個）は、外線および内線のワンタッチボタンとして利用できます。



DSS(ワンタッチ呼出装置)

外線ワンタッチボタン

- 空きボタンには任意に外線番号を登録できます(登録P.43)。

内線ワンタッチボタン

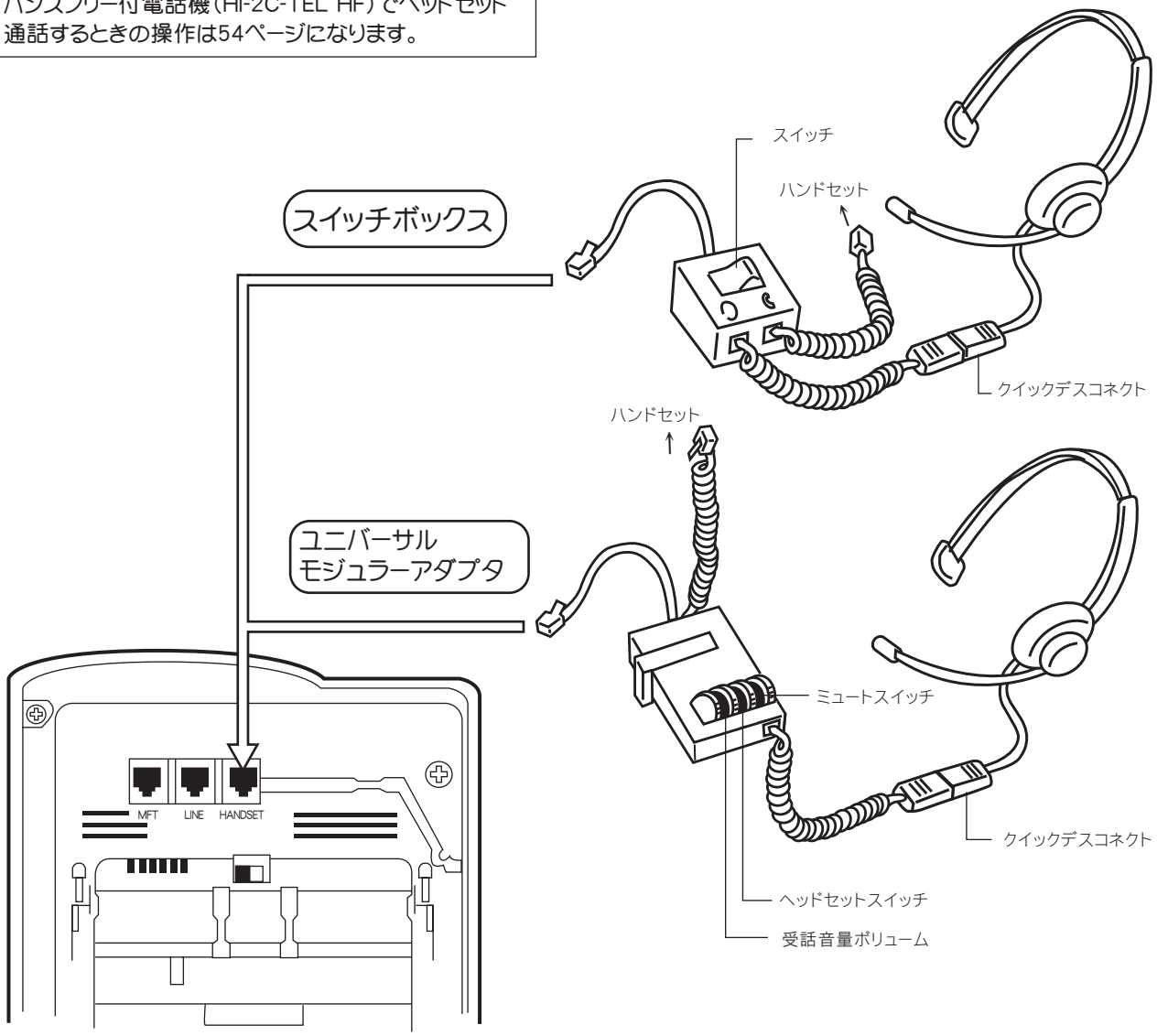
- 空きボタンには任意に外線番号を登録できます(登録P.43)。

ヘッドセットで通話する

ヘットセット通話

受話器の代わりにヘッドセットを使って通話できます。

ヘッドセットを接続するには電話機の改造が必要です。販売店にご用命ください。
ハンズフリー付電話機（HI-2C-TEL HF）でヘッドセット通話するときの操作は54ページになります。



⚠警告

スイッチボックスまたはユニバーサルモジュラーアダプタのコードはHANDSET部に接続してください。誤ってMFTまたはLINEに接続するとコードに回線電圧がかかり火災・感電・故障の原因となります。

● ヘッドセットで通話の場合

- スイッチボックスをお使いのときは、スイッチをヘッドセット側にしてください。
- ユニバーサルモジュラーアダプタをお使いのときは、ヘッドセットスイッチをONにしてください。

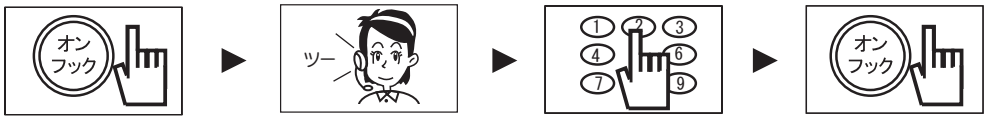
● 受話音量を調節する場合

- スイッチボックスをお使いのときは、電話機の音量調節ボタンで行ってください。
- ユニバーサルモジュラーアダプタをお使いのときは、本品の受話音量ボリュームで行ってください。

● 通話を保留したまま一時席を離れる場合

クイックデスコネクト部分を切り離すとヘッドセットを付けたまま移動できます。

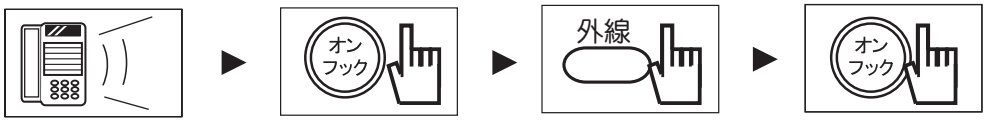
電話をかける



1. オンフックボタンを押す。
2. 発信音を聞く。
3. 相手番号を押す。
4. 通話が終ったらオンフックボタンを押す。

電話を受ける

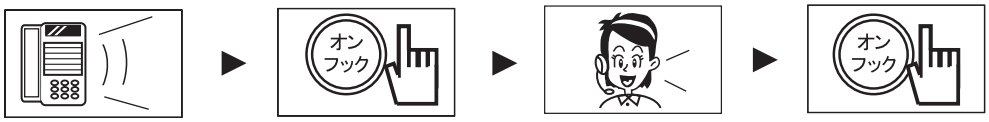
■ 外線からの電話に応答する



着信音が鳴り、外線ランプが赤の速い点滅になります。

1. オンフックボタンを押す。
2. 速い赤点滅の外線ボタンを押す。
   ・通話できます。
3. 通話が終ったらオンフックボタンを押す。

■ 内線からの電話に応答する



着信音が鳴ります。

1. オンフックボタンを押す。
2. 通話する。
3. 通話が終ったらオンフックボタンを押す。

MEMO

第4章

各電話機からの登録操作

この章は、各電話機からの登録操作についての説明です。

- この章の内容操作は全て受話器を置いたままでの操作になります。
- 操作中にオンフックランプが速い点滅になったときは、第8章「こんなメッセージが出たら」(P. 81)をご覧ください。

各電話機からの登録操作

● この章の内容操作は全て受話器を置いたままでの操作になります。
● 操作説明中の (表示) マークの時点で、操作した内容が表示されます。

可変短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する「システム短縮ダイヤル」と、これとは別枠で使用できる「可変短縮ダイヤル」があります。可変短縮ダイヤルには、グループを組んだ中だけで使用する「グループ用」と、各内線が独自に使用する「個人用」があります。これらはどちらか選択になっています。

この内容を販売店に確認してください

システム短縮ダイヤルの場合

1. 発信操作方法は、①②③のどれになっているか。
設定によって複数利用することもできます。

2. 登録相手数の最大数はいくつか。
最大数によって短縮番号の桁数（×××）が変わります。

可変短縮ダイヤルの場合

1. 利用できるのは、グループ用か個人用か。
どちらか選択になっています。

2. 発信操作方法は、①②③のどれになっているか。

3. 登録相手数の最大数はいくつか。
最大数によって短縮番号の桁数（××）が変わります。

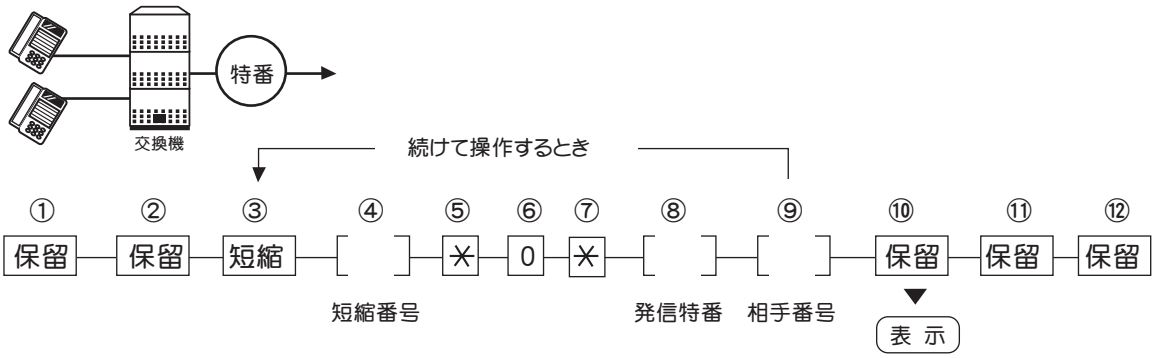
	短縮ダイヤル		
	システム短縮ダイヤル	可変短縮ダイヤル	
		グループ用	個人用
発信操作	① 短縮+<u>×××</u> ② 短縮+<u>＊+×××</u> ③ 短縮+<u>＃+×××</u>	① 短縮+<u>××</u> ② 短縮+<u>＊+××</u> ③ 短縮+<u>＃+××</u>	
	下線の部分が短縮番号です。登録のとき 、＊、 #も一緒に入力してください。		
短縮番号	●短縮番号の桁数は、最大相手先登録数によって変わります。 （例） ■10件のとき　：0（1件目）～9（10件目） ■100件のとき　：00（1件目）～99（100件目） ■1, 000件のとき　：000（1件目）～999（1, 000件目） ※ システム短縮ダイヤルは最大1, 000件です。 ※ 可変短縮ダイヤルは最大100件です。		

1 グループ可変短縮ダイヤル

●グループ内に設定された特定電話機からのみ登録できます。

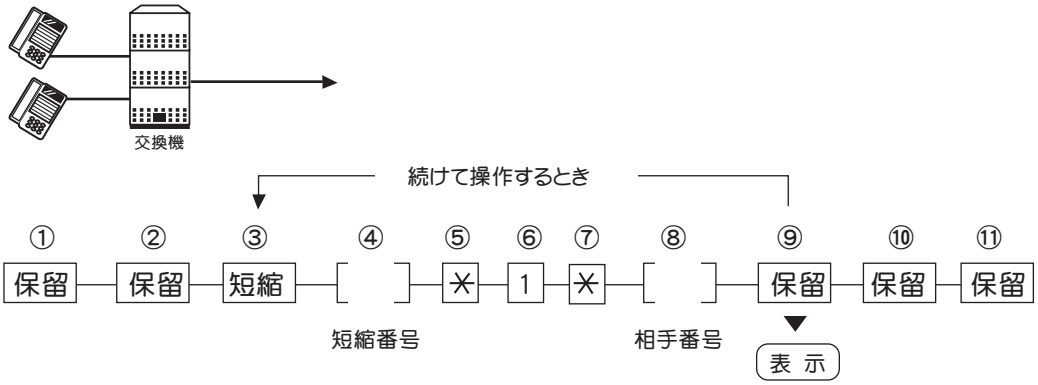
登録

① かけるときに特番が必要な場合 （例：外線発信特番・LCR発信特番・専用線発信特番など）



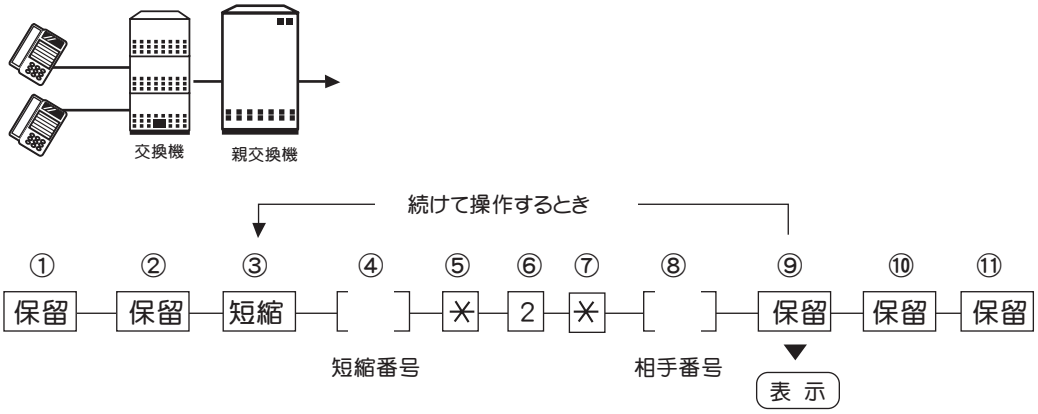
●操作④への入力は、発信操作（P. 38）によっては短縮番号の前に # または ＊を入力することになります。
●ポーズが必要な場合は◇ボタンを押してください。ポーズも桁数に含まれます。
●新しい番号を入力すると以前の番号は取り消しされます。

② 外線に直接かけられる場合



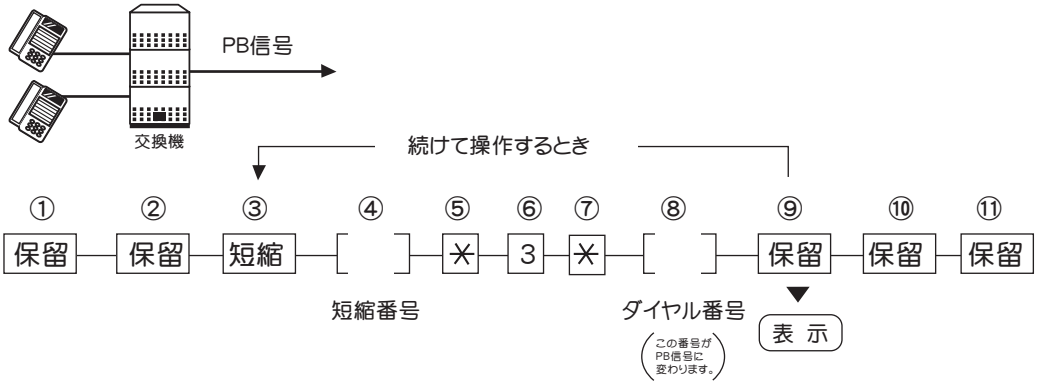
●操作④への入力は、発信操作（P. 38）によっては短縮番号の前に # または ＊を入力することになります。

③ 親交換機を通してかける場合



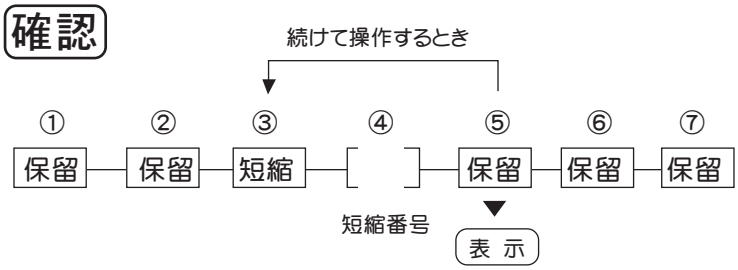
●操作④への入力は、発信操作（P. 38）によっては短縮番号の前に # または ＊を入力することになります。

④ 通話中の状態からPB信号を出す場合 （例：音声メール装置などへのアクセス）



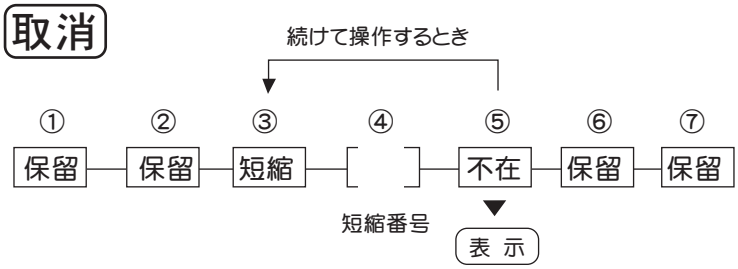
●操作④への入力は、発信操作（P. 38）によっては短縮番号の前に # または ＊を入力することになります。

確認



●操作④への入力は、発信操作（P. 38）によっては短縮番号の前に # または ＊を入力することになります。

取消



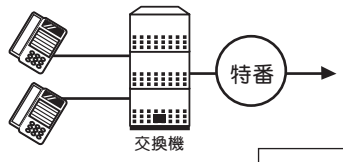
●操作④への入力は、発信操作（P. 38）によっては短縮番号の前に # または ＊を入力することになります。

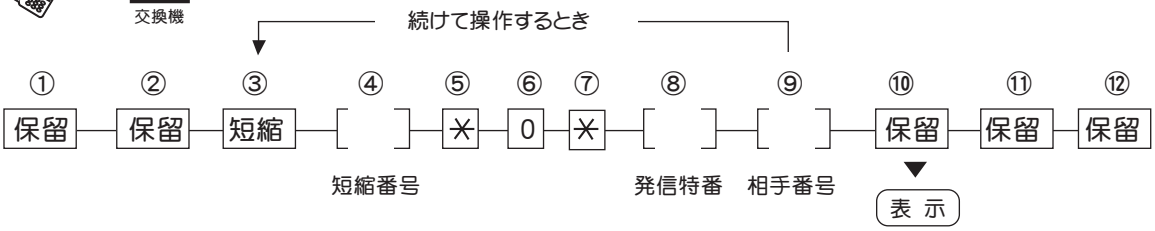
2 個人可変短縮ダイヤル

●各自の内線電話機から登録できます。

登録

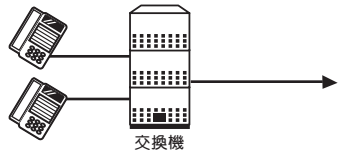
① かけるときに特番が必要な場合 （例：外線発信特番・LCR発信特番・専用線発信特番など）

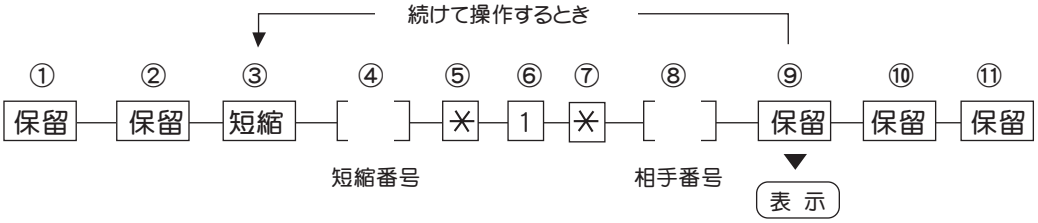




●操作④への入力は、発信操作（P. 38）によっては短縮番号の前に # または ＊を入力することになります。
●ポーズが必要な場合は◇ボタンを押してください。ポーズも桁数に含まれます。
●新しい番号を入力すると以前の番号は取り消しされます。

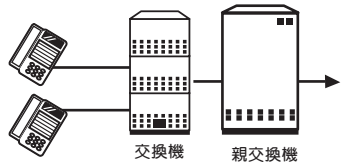
② 外線に直接かけられる場合

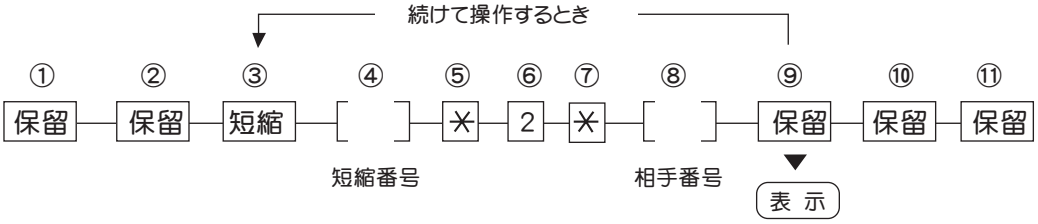




●操作④への入力は、発信操作（P. 38）によっては短縮番号の前に # または ＊を入力することになります。

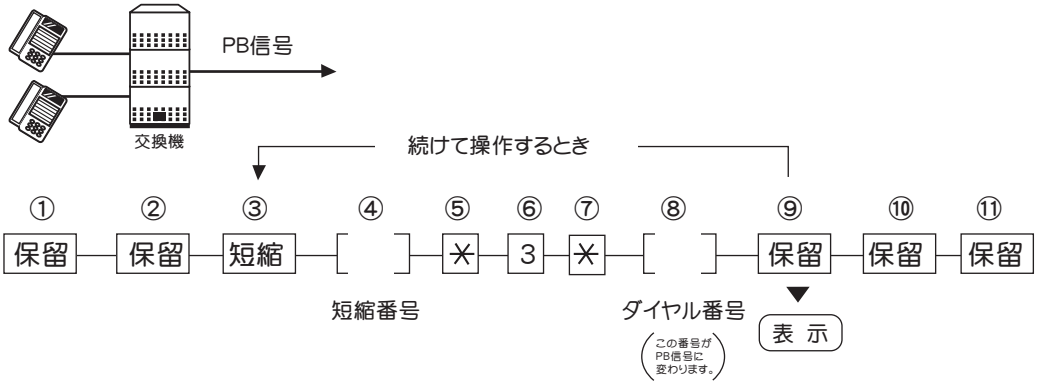
③ 親交換機を通してかける場合





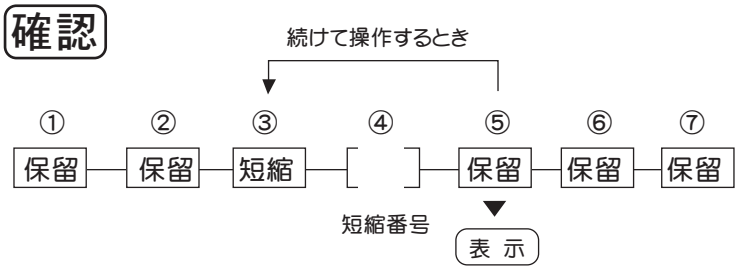
●操作④への入力は、発信操作（P. 38）によっては短縮番号の前に # または ＊を入力することになります。

④ 通話中の状態からPB信号を出す場合 （例：音声メール装置などへのアクセス）



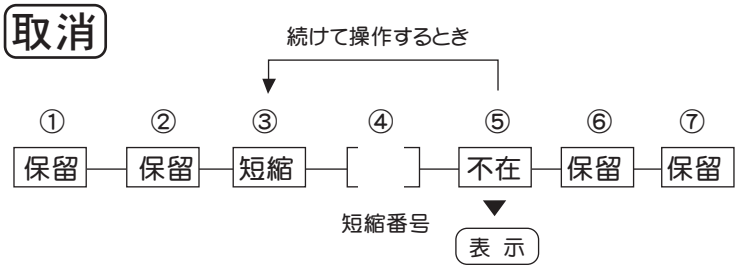
●操作④への入力は、発信操作（P. 38）によっては短縮番号の前に # または ＊を入力することになります。

確認



●操作④への入力は、発信操作（P. 38）によっては短縮番号の前に # または ＊を入力することになります。

取消

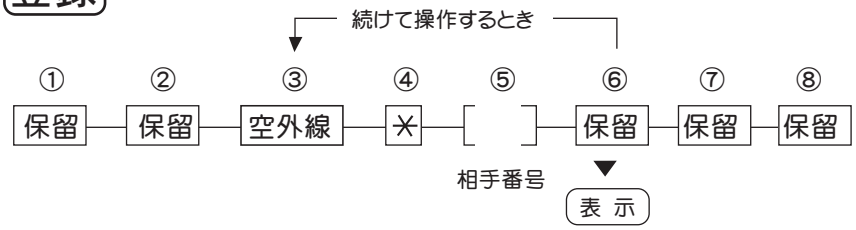


●操作④への入力は、発信操作（P. 38）によっては短縮番号の前に # または ＊を入力することになります。

相手先をワンタッチボタンに登録する

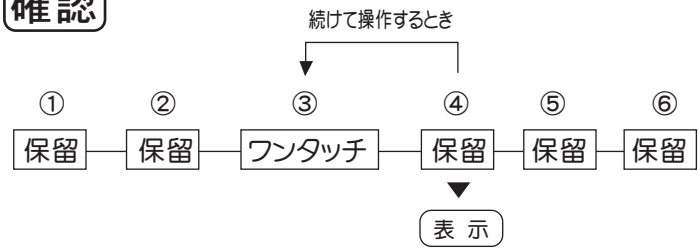
外線や内線の相手番号をワンタッチボタンに登録しておけます。発信はワンタッチでできます。

登録

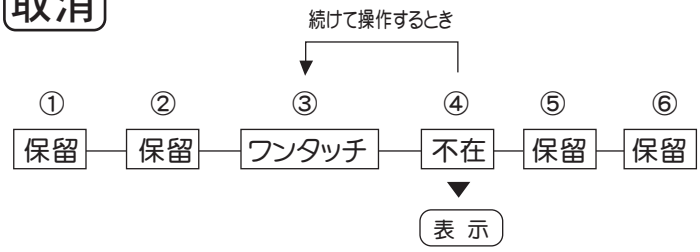


●外線が収容されていない空きボタンを、ワンタッチボタンとして使用します。
●操作⑤での入力は最大24桁です。なお「特番+相手番号」形式でも入力できます。
●DSSへの登録もこの操作になります。なお、操作③はDSSの空きボタンになります。

確認



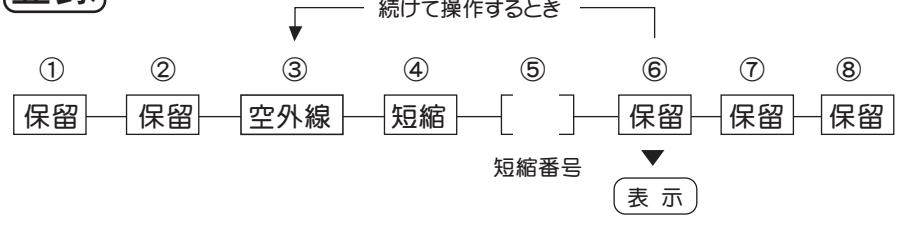
取消



短縮番号の内容をワンタッチボタンに登録する

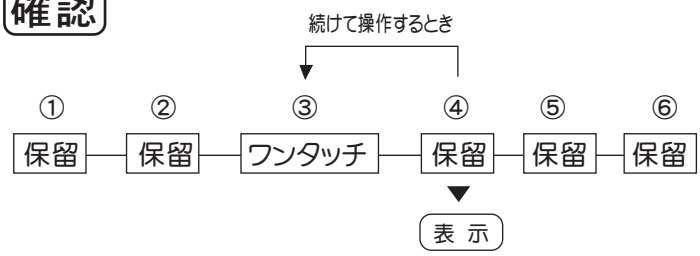
短縮番号での発信が煩わしい場合は、短縮番号の内容をワンタッチボタンに登録しておけます。

登録

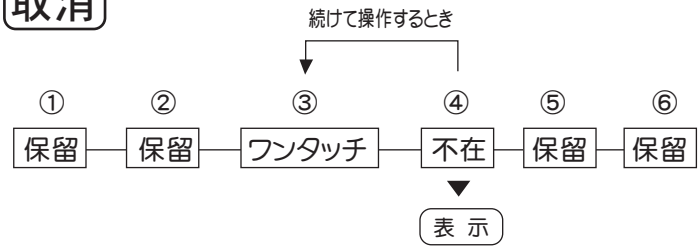


●外線が収容されていない空きボタンを、ワンタッチボタンとして使用します。
●登録できる相手先は、システム短縮ダイヤルおよび可変短縮ダイヤルに登録されていて、短縮ボタンで発信できる相手に限ります。
●DSSへの登録もこの操作になります。なお、操作③はDSSの空きボタンになります。

確認

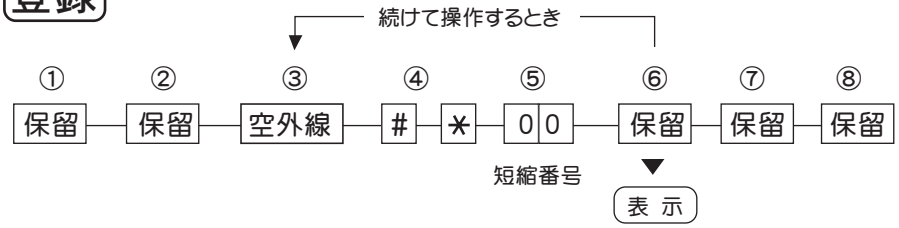


取消

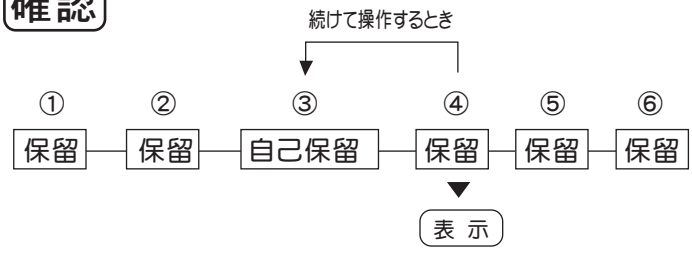


自己保留ボタンを設定する

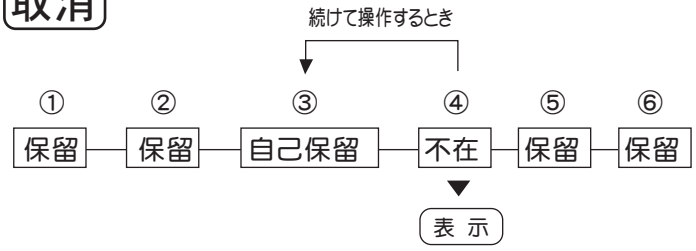
登録



確認



取消



第5章

特定電話機からの登録操作

この章は、特定電話機からの登録操作についての説明です。

- この章の内容操作は全て受話器を置いたままでの操作になります。
- 操作中にオンフックランプが速い点滅になったときは、第8章「こんなメッセージが出たら」(P. 81)をご覧ください。

特定電話機からの登録操作

● この章の内容操作は全て受話器を置いたままでの操作になります。
● 操作説明中の 表示 マークの時点で、操作した内容が表示されます。

特定電話機とは

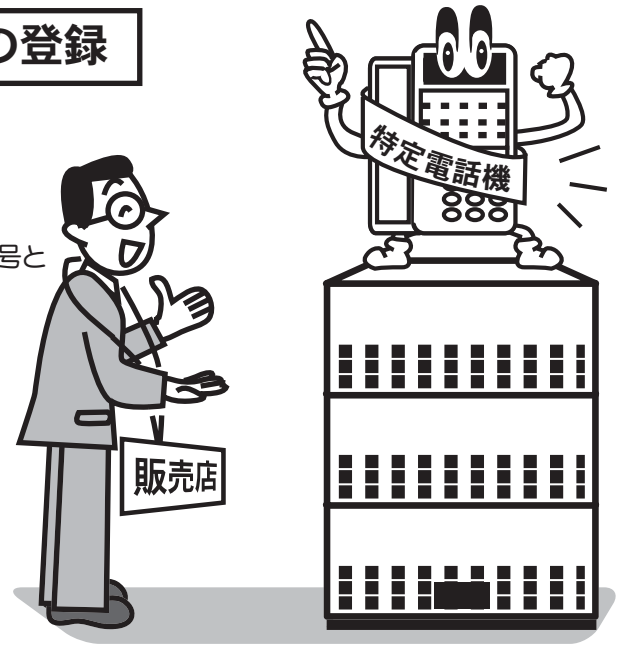
通常の電話機能以外に次の項目について操作できるのが特定電話機です。
特定電話機の設置は販売店が行いますので、内線番号と設置台数を確認してください。

1 日付の設定

2 時刻の設定

3 システム短縮ダイヤルの登録

特定電話機の内線番号と
設置台数を販売店に
ご確認ください。



日付を設定する

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
保留	保留	代理応答	1 1	＊	[ ]	＊	[ ]	＊	[ ]	＊	[ ]	保留	保留	保留
					年（2桁）		月（2桁）		日（2桁）		曜日（1桁）	▼ 表示		

●操作⑫への入力

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7

時刻を設定する

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
保留	保留	代理応答	1 2	＊	[ ]	＊	[ ]	＊	[ ]	保留	保留	保留
					時（2桁）		分（2桁）		秒（2桁）	▼ 表示		

システム短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルには、全内線が共通で使用する「システム短縮ダイヤル」と、これとは別枠で使用できる「可変短縮ダイヤル」があります。可変短縮ダイヤルには、グループを組んだ中だけで使用する「グループ用」と、各内線が独自に使用する「個人用」があります。これらはどちらか選択になっています。

この内容を販売店に確認してください

システム短縮ダイヤルの場合

1. 発信操作方法は、①②③のどれになっているか。
設定によって複数利用することもできます。

2. 登録相手数の最大数はいくつか。
最大数によって短縮番号の桁数（×××）が変わります。

可変短縮ダイヤルの場合

1. 利用できるのは、グループ用か個人用か。
どちらか選択になっています。

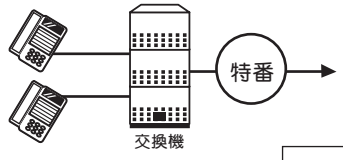
2. 発信操作方法は、①②③のどれになっているか。

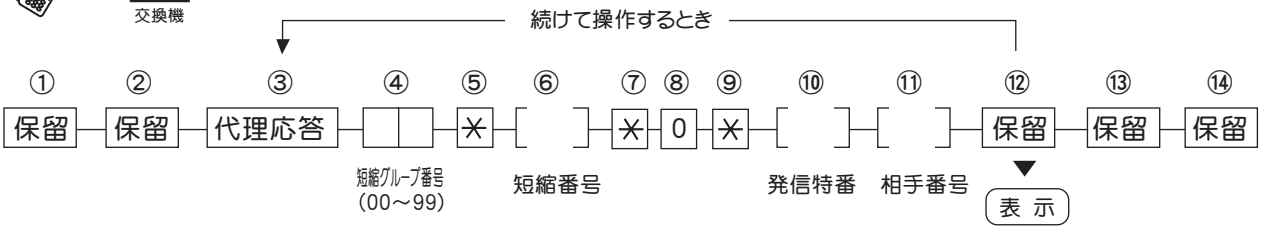
3. 登録相手数の最大数はいくつか。
最大数によって短縮番号の桁数（××）が変わります。

	短縮ダイヤル		
	システム短縮ダイヤル	可変短縮ダイヤル	
		グループ用	個人用
発信操作	① 短縮+<u>×××</u> ② 短縮+<u>＊+×××</u> ③ 短縮+<u>＃+×××</u>	① 短縮+<u>××</u> ② 短縮+<u>＊+××</u> ③ 短縮+<u>＃+××</u>	
	下線の部分が短縮番号です。登録のとき 、＊、 #も一緒に入力してください。		
短縮番号	●短縮番号の桁数は、最大相手先登録数によって変わります。 （例） ■10件のとき　：0（1件目）～9（10件目） ■100件のとき　：00（1件目）～99（100件目） ■1, 000件のとき　：000（1件目）～999（1, 000件目） ※ システム短縮ダイヤルは最大1, 000件です。 ※ 可変短縮ダイヤルは最大100件です。		

登録

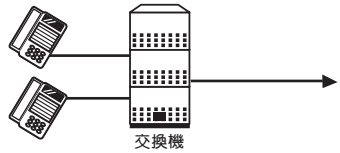
① かけるときに特番が必要な場合　（例：外線発信特番・LCR発信特番・専用線発信特番など）

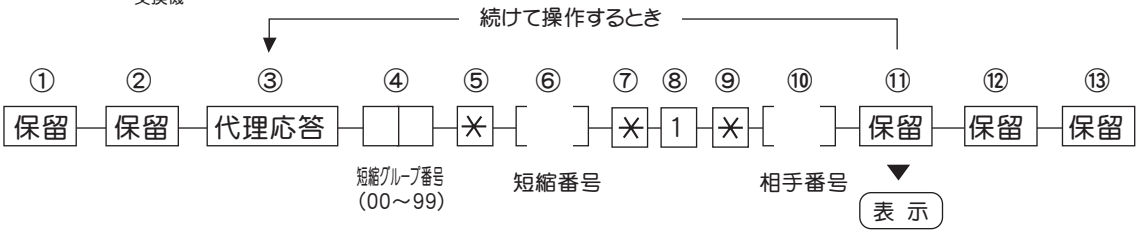




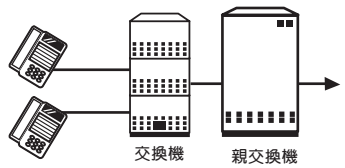
●ポーズが必要な場合は◇ボタンを押してください。ポーズも桁数に含まれます。
●新しい番号を入力すると以前の番号は取り消しされます。

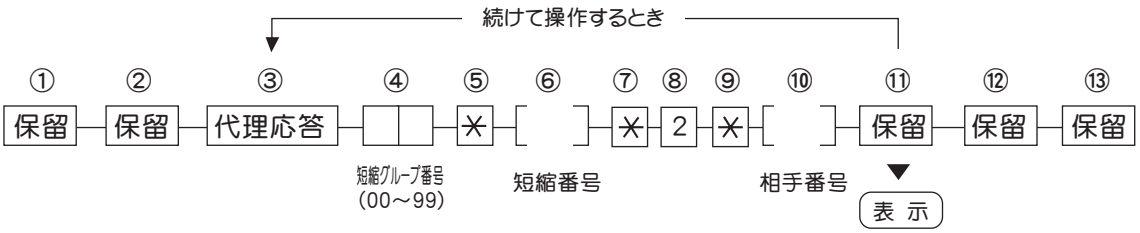
② 外線に直接かけられる場合





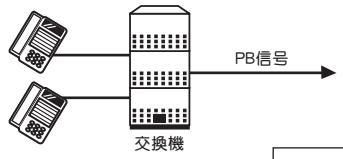
③ 親交換機を通してかける場合

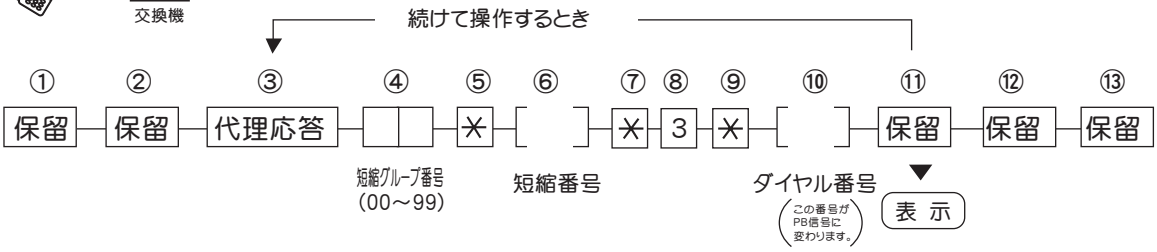




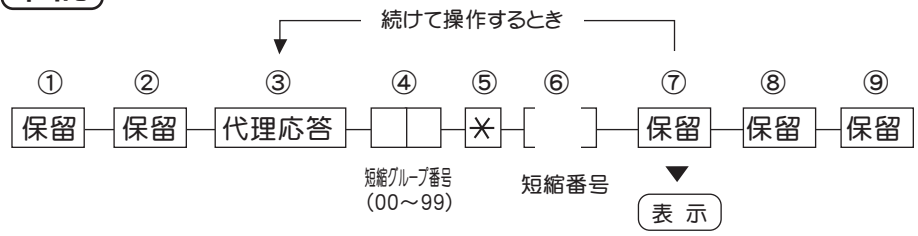
●操作⑩は、相手が内線のときは内線番号、外線のときは親交換機の外線発信特番+相手番号になります。

④ 通話中の状態からPB信号を出す場合 （例：音声メール装置などへのアクセス）





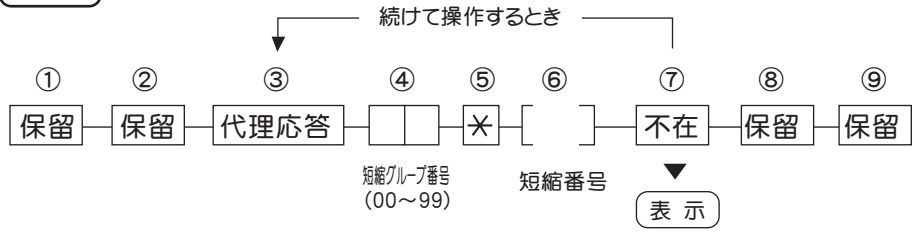
確認



●操作⑦の表示で、※部が「E」ではなく、「－」マークの場合は、登録内容が一度に表示できないときです。このときは転送ボタンを押してください。残りの内容が表示されます。

デ － タ　　登録／表示	※
00－00－1－0337632411 E	
15日（日）　12:00　2000	

取消



MEMO

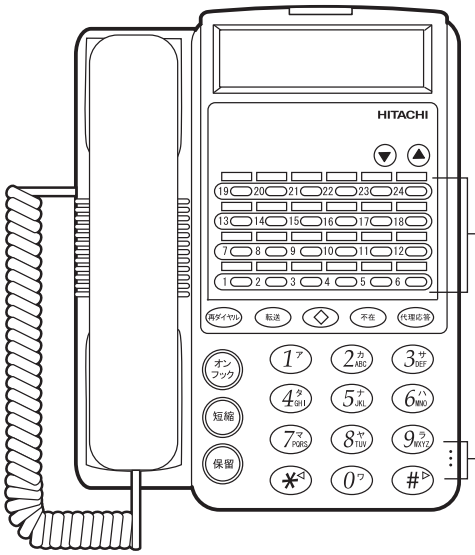
第 6 章

その他の電話機

この章は、ハンズフリー付電話機、アナログポート付電話機、
停電直通用電話機の独自機能についての説明です。

ハンズフリー付電話機〔HI-24C-TEL HF〕

この電話機は受話器を置いた状態で通話できます。

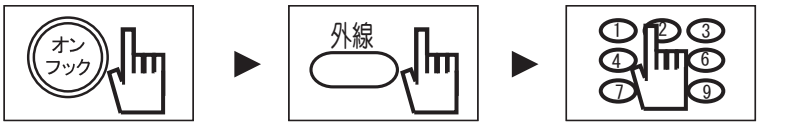


- マイクボタンは取付時に販売店が設定しますので位置をお確かめください。
- マイクボタンにマイクシール(添付品)を貼ってご使用ください。
- ハンズフリーで通話する場合は、あらかじめマイクボタンをON(ランプ点灯)にしておいてください。

- マイクとの距離は1m以内でお話しください。

外線にかける

外線発信

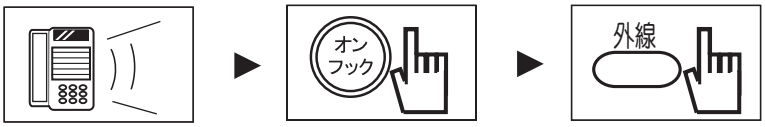


1. オンフックボタンを押す。
2. 外線ボタンを押す。
3. 相手番号を押す。

- マイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後にマイクボタンを押してONにしてください。

外線からの電話を受ける

外線応答

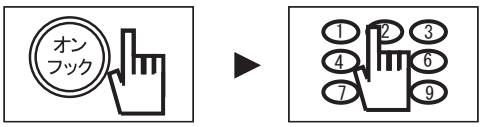


着信音が鳴る。
1. オンフックボタンを押す。
2. 赤の速い点滅をしている外線ボタンを押す。

- マイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後にマイクボタンを押してONにしてください。

内線にかける

内線発信

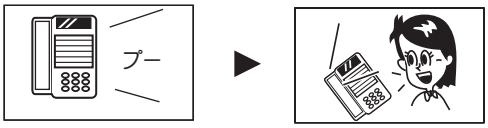


1. オンフックボタンを押す。
2. 相手内線番号を押す。

● マイクがONになっていない場合は、操作1. の前、または後にマイクボタンを押してONにしてください。

内線からの電話を受ける

内線応答

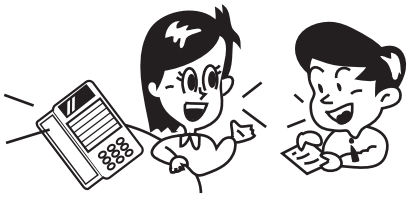


着信があるとすぐに冒頭音が鳴る。

1. 通話する。

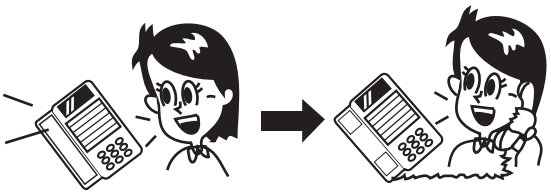
● マイクがONになっていない場合は、着信音が鳴ったらマイクとオンフックボタンをおしてください。

相手にこちらの声を聞かせたくない場合



1. マイクボタンを押す。
   マイクランプが消えます。
2. 相手の声は聞こえますが、相手にはこちらの声は聞こえません。
3. 再度マイクボタンを押すと元の状態に戻ります。

ハンズフリー通話から受話器での通話にする場合



1. ハンズフリー通話中に受話器を上げる。
2. ハンズフリー通話に戻す場合はオンフックボタンを押してから受話器を戻す。

ハンズフリー通話中のご注意

● 通話は交互に行ってください。双方が同時に通話したり、相手の話しが終わらないうちに話しかけと、声がとぎれる場合があります。
● マイクとの距離は1m以内でお話しください。
● ハウリングが発生する場合は、受話器を使って通話してください。

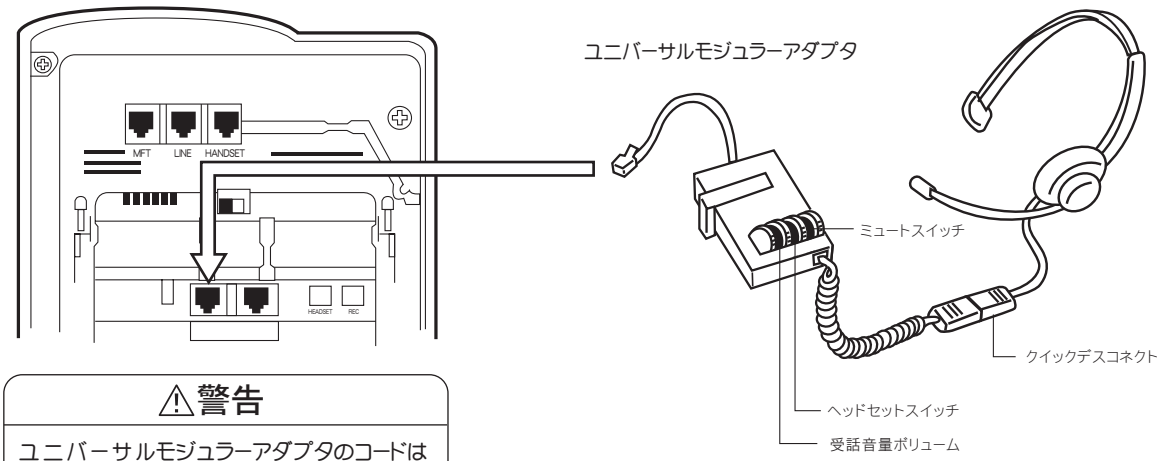
この電話機はヘッドセット、通話録音機器、高音量ベルを接続できます。

ヘッドセットで通話する

ヘットセット通話

① ユニバーサルモジュラーアダプタを使う場合

ヘッドセットを接続するには電話機の改造が必要です。
販売店にご用命ください。

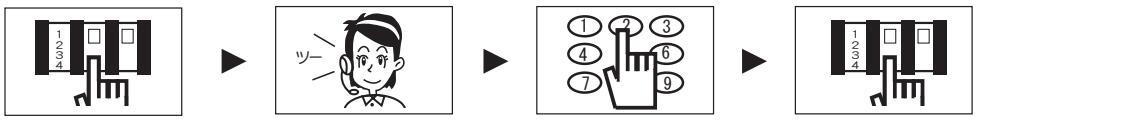


⚠警告

ユニバーサルモジュラーアダプタのコードはHEADSET部に接続してください。誤ってMFTまたはLINEに接続するとコードに回線電圧がかかり火災・感電・故障の原因となります。

- 受話音量の調節は、ユニバーサルモジュラーアダプタの受話音量ボリュームで行います。
- 通話を保留したまま一時席を離れる場合は、クイックデスコネクト部分を切り離すとヘッドセットを付けたまま移動できます。

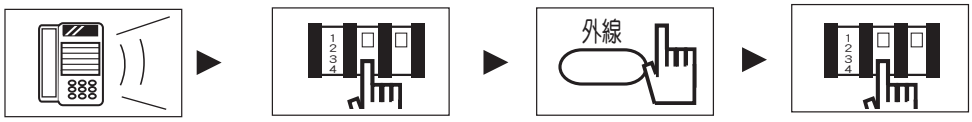
電話をかける



1. ヘッドセットスイッチを押す。
   - ヘッドセットスイッチの表示が出ます。
2. 発信音を確認する。
3. 相手番号を押す。
4. 通話が終わったらヘッドセットスイッチを押す。
   - ヘッドセットスイッチの表示が消えます。

電話を受ける

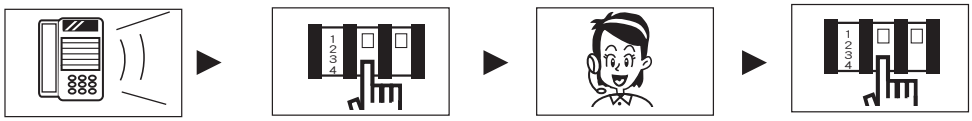
■ 外線からの電話に応答する



着信音が鳴る

1. ヘッドセットスイッチを押す。
   - ヘッドセットスイッチの表示が出ます。
2. 赤の速い点滅している外線ボタンを押す。
3. 通話が終わったらヘッドセットスイッチを押す。
   - ヘッドセットスイッチの表示が消えます。

■ 内線からの電話に応答する

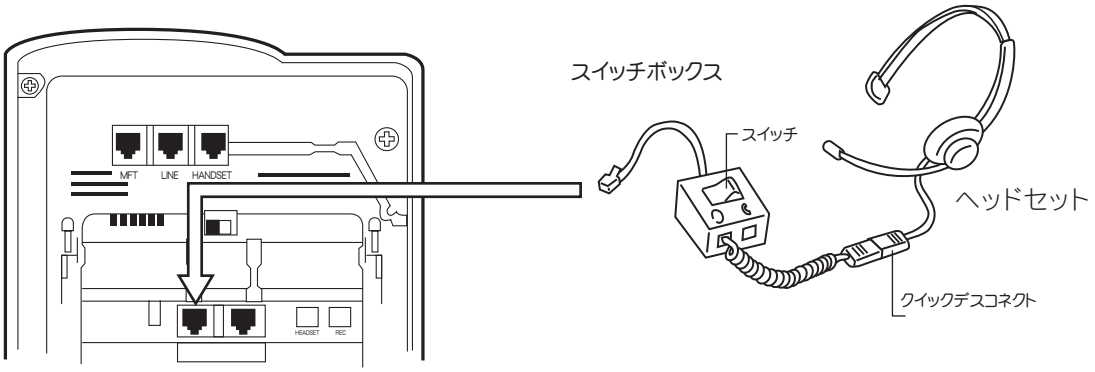


着信音が鳴る

1. ヘッドセットスイッチを押す。
   - ヘッドセットスイッチの表示が出ます。
2. 通話する。
3. 通話が終わったらヘッドセットスイッチを押す。
   - ヘッドセットスイッチの表示が消えます。

② スイッチボックスを使う場合

ヘッドセットを接続するには電話機の改造が必要です。
販売店にご用命ください。

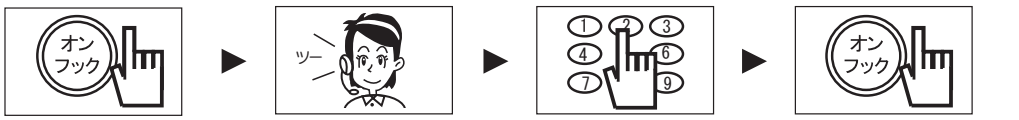


⚠警告

スイッチボックスのコードはHEADSET部に接続してください。誤ってMFTまたはLINEに接続するとコードに回線電圧がかかり火災・感電・故障の原因となります。

- ヘッドセットを使用するときは、あらかじめスイッチをヘッドセット側に切り替えてください。
- 受話音量の調節は、電話機の音量ボタンで行います。
- 通話を保留したまま一時席を離れる場合は、クイックデスコネクト部分を切り離すとヘッドセットを付けたまま移動できます。

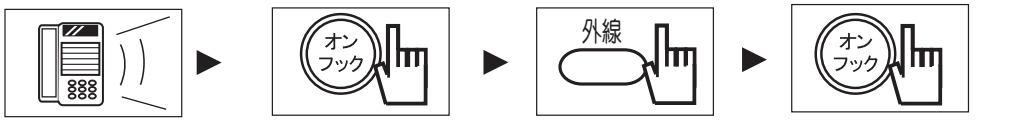
電話をかける



1. オンフックボタンを押す。
2. 発信音を確認する。
3. 相手番号を押す。
4. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。

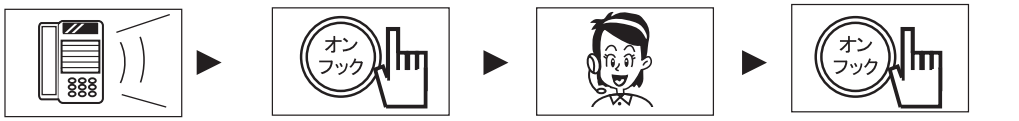
電話を受ける

■ 外線からの電話に応答する



着信音が鳴る
1. オンフックボタンを押す。
2. 赤の速い点滅している外線ボタンを押す。
3. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。

■ 内線からの電話に応答する



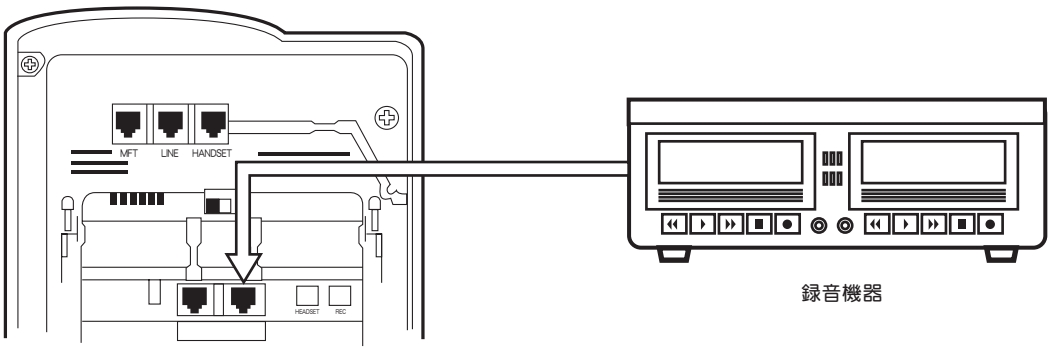
着信音が鳴る
1. オンフックボタンを押す。
2. 通話する
3. 通話が終わったらオンフックボタンを押す。

通話を録音する

通話録音

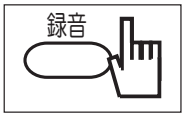
市販の録音機器を接続して、通話を録音することができます。

取り付けは販売店にご用命ください。



録音機器

通話中に…

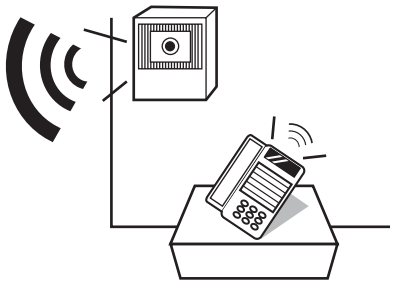


1. 録音機器の録音ボタンを押す。

高音量ベルを使用する

高音量ベル

着信音が聞き取りにくい所に電話機が設置されているときは、高音量ベルを接続すると、着信音量を大きくして聞くことができます。

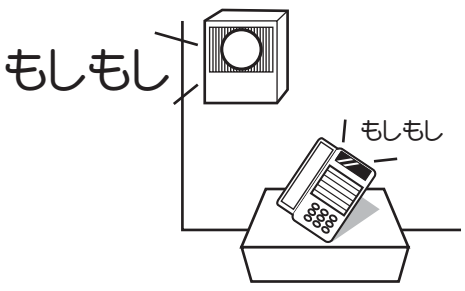


●取り付けは販売店が行います。
●音量は一定ですので、変えることはできません。

スピーカ付アンプを使用する

スピーカ付アンプ

スピーカ付アンプを接続すると、電話機のスピーカから聞こえる内容を大きくして聞くことができます。



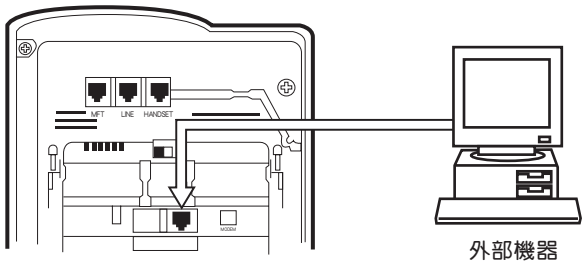
●取り付けは販売店が行います。
●音量は電話機の音量ボタンで調節できます。

アナログポート付電話機〔HI-24C-TEL 0A〕

データ通信をする

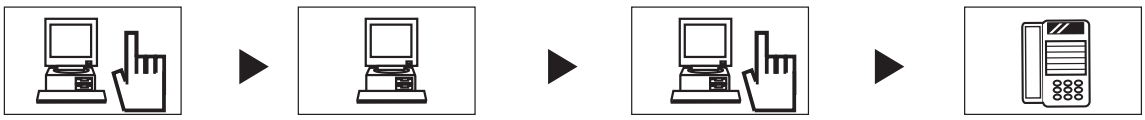
モデム接続

この電話機には、モデム内蔵パソコンやファクシミリなどの外部機器を接続でき、そして電話機と外部機器にそれぞれ別の内線番号が付与できます。なお、電話機と外部機器との同時使用はできません。



外部機器
（モデム内蔵パソコンやファクシミリ等）

発信



1. パソコンのダイヤルアップネットワーク等からダイヤル(PB信号)を出す。
   ・電話機は使用できなくなります。
2. つながると接続先ホストからのメッセージが表示される。
3. 通信が終わったらダイヤルアップネットワーク等で回線切断を指示する。
   ・FAXの場合は送信が終わると自動的に回線が切れます。
4. 外部機器使用中の表示が消え、電話機が使えるようになります。

〈 パソコンの設定について 〉

●あらかじめダイヤル種別を、ダイヤルアップネットワーク等のダイヤルのプロパティで、トーンに設定してください。パルスでは接続できません。
●アクセスポイントのダイヤル番号の前に、外線発信特番を付けてください。
●あらかじめダイヤルアップネットワーク等でプロバイダーから得た、ユーザー名、パスワード、ネットワークプロトコルを設定してください。
設定しないとアクセスポイントに回線が接続されてもホストコンピュータに接続できません。

〈 モデム受信レベルについて 〉

●通話からデータ通信に切り替わると、受信レベルはそれまで通話していたときの受話音量に対応する受信レベルになっています。
受信レベルを変更する場合は、通信していないときに受話器を上げ、音量ボタンで調節してください。

■受話音量と受信ゲインの関係

受話音量(dB)	大 ⟷ 標準		
	4	2	0
受信ゲイン(dB)	0	−2	−4
	大 ⟷ 小		

ご注意
・送信ゲインについては0dBに固定されていますので、変更はできません。

使用上の注意

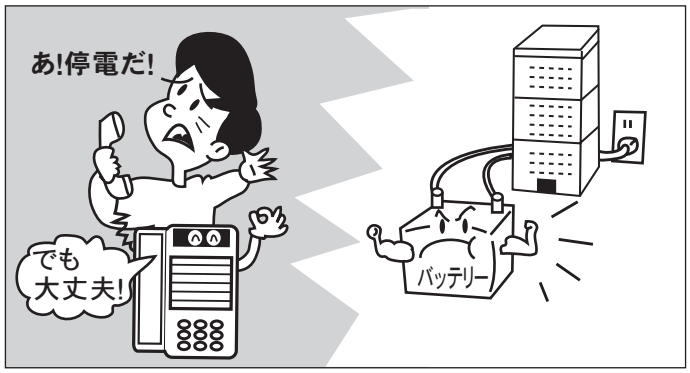
この電話機にモデム内蔵パソコンやファクシミリなどの外部機器を接続してご利用になる場合は、次の点に注意してください。

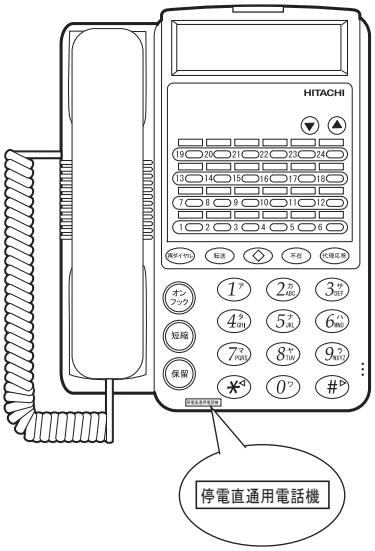
●この電話機と外部機器の2台同時使用はできませんので、外部機器を使う前には、必ずこの電話機が空いている(着信もない)ことを確認してください。
●この電話機が使われているときに、誤って外部機器から発信操作をすると、この電話機に対してダイヤルが出てしまいますので、直ちに操作を停止してください。
●外部機器から発信した際に、相手からこちらの外部機器に着信があった場合(通信の衝突)は着信が優先となります。受信が終わってから再度発信してください。(通信の衝突時、外部機器によっては通信エラーとなる場合があります。)
●この電話機は、外部機器からダイヤルがあったとき、ダイヤル間に約4秒の空きがあると、その時点でダイヤル終了と判断しますので、ダイヤル操作は続けて行ってください。
●この電話機に2線式電話機を接続してのご利用はおすすめいたしません。
・呼び出し音(1秒鳴って、2秒停止の繰り返し)が鳴っている途中で2線式電話機の受話器を上げると、呼び出し音が鳴るべき残りの時間は雑音となって聞こえます。
・2線式電話機から転送や保留のためのフッキング操作をすると、電話が切れてしまいます。
●こちらの外部機器に着信(呼び出し音が鳴る)があると、この電話機に内蔵されている呼び出し音用の部品が動作します。接続されている外部機器によってはこの部品の発振音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

停電直通用電話機〔HI-24C-TEL PF〕

〈この電話機は"アナログ回線用"です〉

停電になると交換機に取り付けられている停電用バッテリーからの給電に切り替わり、普通に使えます。

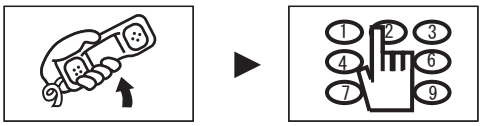




ただし、停電が長時間続いてバッテリーからの給電が止まると電話機能は停止します。このとき、この電話機は外線（自局の加入者番号）と直結になます。これにより外線の発信／着信に限り利用できます。

外線にかける

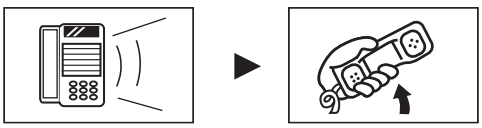
外線発信



1. 受話器を上げる。　2. 相手番号を押す。

外線からの電話を受ける

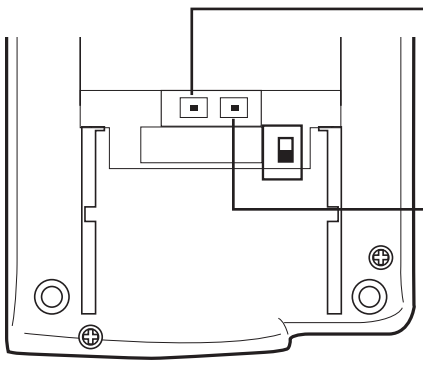
外線応答



着信音が鳴る。　1. 受話器を上げる。

●ダイヤルボタン以外のボタンは一切機能しません。また、この電話機はハンズフリー機能(P.52)をもっていますが、同様に機能しません。

●この電話機を他の回線につなぎ替えないでください。停電時に使用できなくなります。



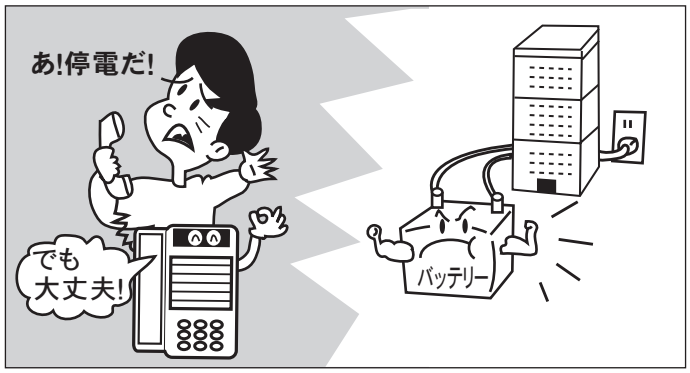
●バッテリーからの給電がなくなった状態での着信音量調節ができます。裏面の着信音量切替スイッチを切り替えてください。

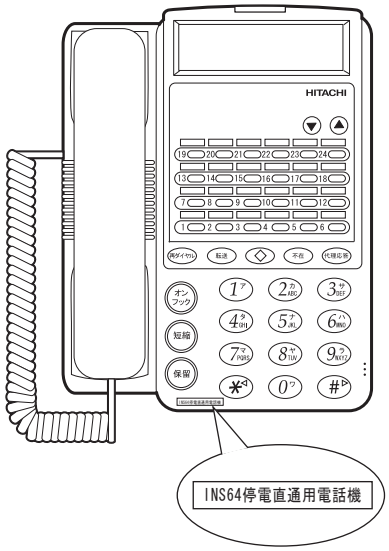
●回線切替スイッチは販売店が設定していますので、切替えないでください。電話機が使えなくなります。

INS64停電直通用電話機〔HI-24C-TEL PF1〕

<この電話機は"ISDN回線用"です>

停電になると交換機に取り付けられている停電用
バッテリーからの給電に切り替わり、普通に使えます。

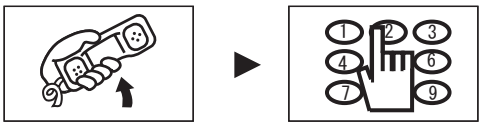




ただし、停電が長時間続いてバッテリーからの給電が止まると電話機能は停止します。このとき、この電話機はISDN(INS64)回線(自局の加入者番号)と直結になます。これにより外線の発信／着信に限り利用できます。

外線にかける

外線発信

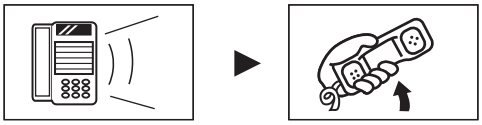


1. 受話器を上げる。　2. 相手番号を押す。

●#ボタンなどでの一括発信はできません。
●相手番号をダイヤル中に約4秒の間があくとダイヤルが終了したとみなされて、その時点で発信されてしまいますので、ダイヤル操作は連続で行ってください。
●ダイヤルを間違えたときは約4秒以内に受話器を戻し、ダイヤルをし直してください。
●ダイヤルが終了してから最低4秒間は無音です。その後に呼び出し音が聞こえます。

外線からの電話を受ける

外線応答



着信音が鳴る。　1. 受話器を上げる。

●着信音量は固定ですので調節はできません。
●ダイヤルボタン以外のボタンは一切機能しません。また、この電話機はハンズフリー機能(P.52)をもっていますが、同様に機能しません。
●この電話機を他の回線につなぎ替えないでください。停電時に使用できなくなります。
●通話中に停電が復旧すると通話が切れますが異常ではありません。

MEMO

第 7 章

電話機独自機能

電話機独自機能

電話機独自機能のご使用にあたって

電話機独自機能の使用にあたっては、次の内容をよくお読み頂き、正しくお使いください。

1 携帯/PHS通信関連

- 携帯/PHSを接続して通信を行っているときは、オンラインモードに戻るまで携帯/PHS接続ケーブルを抜いたり端末の電源（回線コードを抜く）を切ったりしないでください。この電話機が異常動作を起こしたり、登録されているメモリが消える可能性があります。あやまって携帯/PHS接続ケーブルを抜いたり電源（回線コードを抜く）を切ってしまい異常状態になったときは、一旦この電話機の電源（回線コードを抜く）を落とし、再立ち上げしてください。
- 読み仮名が全角で入っているものは読込み時、表示されません。
（登録した場合、名前、電話番号のみが登録されますので、修正モードで読み仮名を追加してください。）
- 携帯/PHS共に機種によっては文字化けしたり読込みできない機種もあります。

下記の機種については動作確認済みです。

＜ 携帯電話 ＞

N501i	N502i	N502it	N503i	P503i	N503is	P503is	P208
P209	D210i	N210i	P211i	So503i	So504i	N504i	P504i

＜ PHS ＞

*332S	*622S	*641S	*331S	*TC−332SE	*TC−642SE	*TC−631SE

（*印の機種は仮名を全角で記憶しているため、読み仮名は読み込めません。）

※この電話機から携帯/PHSに対して、メモリ消去や書き換えのコマンドは送信しておりません。万一、データが消えることがあっても補償いたしかねますのでご了承ください。
※携帯/PHSのメモリダイヤルをこの電話機に読み込む際、専用の接続ケーブル（別売品）が必要となります。

2 電話帳関連

- 読み仮名検索のとき、読みが入っていないものが一番最初にきます。その後、（ 、） 、ー 、0,1,2,・・9、大文字英語（A、B・・Z）、小文字英語（a、b・・z）、小文字カタカナ、大文字カタカナ、濁音の順に表示されます。
- 文字入力のとき、オンフックを押すと大文字から小文字に変換することができます。
- 濁音（”゛）、括弧、ハイフン（−）の入力は、ワ、ヲ、ンの後に表示されます。
- 電話帳を修正するとき、名前は修正できません。修正できるのは、読みと電話番号だけです。

3 着信メロディー関連

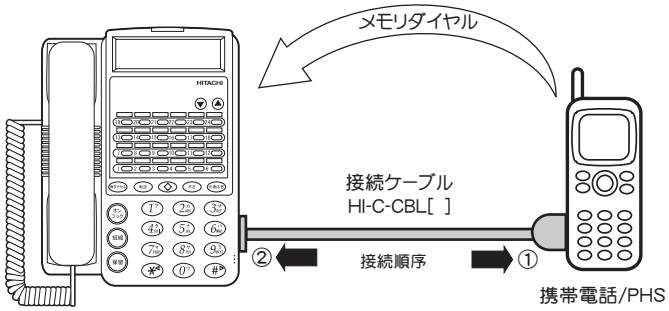
- 着信メロディーはシステム設定により、細かい設定ができます。鳴り分けをするときは担当の工事者にご相談ください。（トーンB,C,E,F、ボタン着信1〜4はボタンに着信させるときに設定します。）

4 全機能共通

- メニューモード時、15秒以上キー操作をしないと自動的に待機状態に戻ります。
- 各データを設定するときに電源（回線コードを抜く）を切らないでください。この電話機が誤動作したり、登録されているメモリが消える可能性があります。また、誤って電源（回線コードを抜く）を切ってしまい、動作がおかしいと思われる場合は、一旦回線コードを抜いて再立ち上げしてください。
- 発着信履歴などのタイムスタンプはあくまでも目安です。実際の時間と異な場合があります。

携帯電話のメモリダイヤルを読込ませる

携帯電話またはPHSのメモリダイヤルを、この電話機に読み込ませることができます。



接続ケーブル	・HI-C-CBLA：携帯電話機(NTTDocomo)接続ケーブル ・HI-C-CBLB：PHS(NTTDocomo)接続ケーブル

⚠警告

- ケーブルを接続するときは、先に携帯電話／PHSに接続し、次にこの電話機に接続してください。接続順が逆になると故障の原因となります。
- 携帯電話/PHSを充電しながら接続しないでください。故障の原因となります。

- 携帯電話/PHSを充電しながらの読み込みはしないでください。故障の原因となります。
- 読み込みモードにする場合は、あらかじめ電話機を不在設定にしてください。読み込み中に着信があると、着信が優先となって読み込みモードが解除されてしまいます。
- メモリダイヤルは一相手につき2電話番号を登録できます。ただし、携帯電話／PHSから読み込みできるのは1電話番号だけです。2つ目の番号は編集モード(P.69)での入力になります。
- 読み込んだメモリダイヤルは漢字で表示できます。また、編集もできます。
- 読み込んだ電話番号に特番を付加することができます(P.76)。
- 読み込んだ文字が特殊漢字の場合は電話機に表示できなかったり別の文字が表示されることがあります。

1 携帯電話/PHSを接続する

2

```
内線番号          125
05月31日(金)      15:30
```

(#▷)を押す。

・メニュー画面になる。

3

```
1電 話 帳    4ワンタッチ
2発 信 履 歴 5アラーム
3着 信 履 歴 6設 定
```

(1ア)を押す。

・電話帳を選択する。

4

```
電 話 帳      3作 成
1読 検 索     4読 込
2ｸﾞﾙｰﾌﾟ検 索
```

(4タGHI)を押す。

・読込を選択する。

5

```
読 込
1)携帯
2)ＰＨＳ
```

(1ア)か(2カABC)を押す。

・接続した電話機を選択する。

6

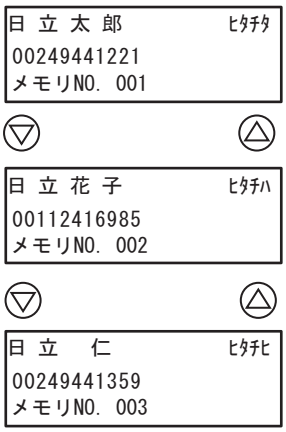
```
読 込          登 録 数150
メ モ リ Ｎ Ｏ ？
００１
```

(入力例：001)

携帯/PHSのメモリダイヤルNO.を入力し、(保留)で決定する。

- メモリダイヤルNO.は通常000～999です。
- 入力の取消しは(短縮)を押します。

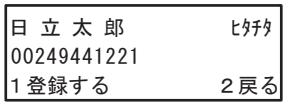
7



メモリダイヤルが表示されます。
相手先を選択し、保留 で決定する。

● ▽△ で、前後に登録されているメモリダイヤルの名前が確認できます。

8

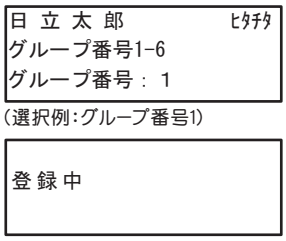


（登録例：日立太郎）

1ア か 2カ ABC を押す。

●2を選択すると操作7に戻ります。

9



（選択例:グループ番号1）

グループ番号を選択し、保留 で決定する。

●登録中と表示した後、操作7に戻ります。

●メモリダイヤルは000～999まで読み出せますが、この電話機に読み込めるのは300件までです。
●読み出したメモリダイヤルにデータが入っていないと何も表示されません。
●読み出した電話番号に特番を付加する場合は、この電話機から設定します。
（上記は特番「0」を付加した場合です。）

読み仮名で電話帳を検索して電話をかける

読み仮名検索

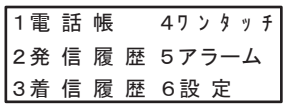
読み仮名を入力して電話帳に登録されている番号を検索して電話をかけることができます。

1

(#▷)を押す。

・メニュー画面になる。

2



(1ア)を押す。

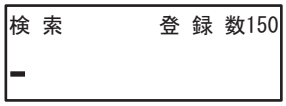
・電話帳を選択する。

3

(1ア)を押す。

・読み仮名入力待ちになります。

4

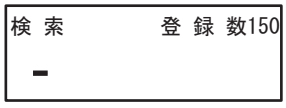


(検索例:日立太郎)

読み仮名(ヒ)を入力する。

●入力有効文字数は4文字です。

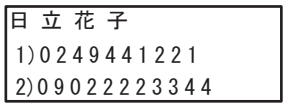
5



(保留)を押す。

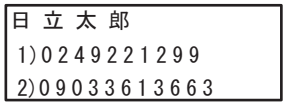
●ひ行の最初の登録者が表示されます。
●入力を取消すときは短縮ボタンを押し、再入力してください。

6



●(▽)(△)で、前後に登録されているメモリダイヤルの名前が確認できます。

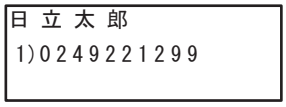
7



(1ア)か(2カABC)を押す。

・電話をかける先を選択する。

8



(選択例:1)

(オンフック)を押す。

●選択先に発信します。

グループ番号で電話帳を検索して電話をかける

グループ番号検索

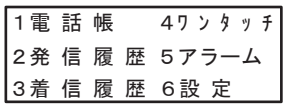
グループ番号を入力して電話帳に登録されている番号を検索して電話をかけることができます。

1

(#▷)を押す。

・メニュー画面になる。

2



(1ア)を押す。

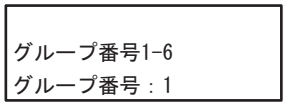
・電話帳を選択する。

3

(2カABC)を押す。

・グループ検索を選択する。

4

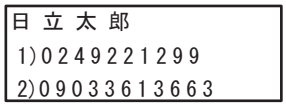


(選択例：グループ1の2番目に登録されている日立花子　)

グループ番号を選択する。

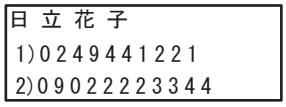
●グループ番号検索をすると、グループ内で「あいうえお順」に登録されている名前から表示されます。

5



●▽△を押すと前後に登録されているメモリダイヤルの名前が確認できます。

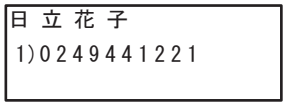
6



(1ア)か(2カABC)を押す。

・相手先を選択する。

7



(オンフック)を押す。

●選択先に発信します。

電話帳の登録番号を消去する

電話帳番号消去

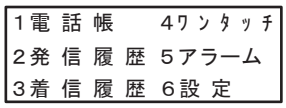
電話帳に登録されている電話番号を消去できます。

1

(#▷)を押す。

・メニュー画面になる。

2



(1ア)を押す。

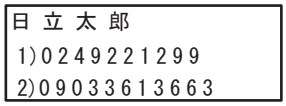
・電話帳を選択する。

3

(1ア)か(2カABC)を押して消去する名前を選選択する。

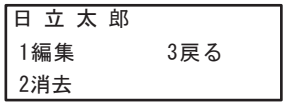
●参照→「読み仮名検索(P.65)」、「グループ番号検索(P.66)」

4



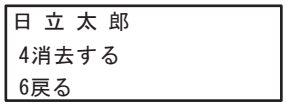
消去する電話番号を選択して(保留)を押す。

5



(2カABC)を押す。

6



(4タGHI)を押す。

●操作4に戻り、続けて消去できる状態になります。

●「消去しました」の画面表示から(保留)を押すと、操作2に戻ります。

● ここで操作を終了するときは(#▷)を押してください。待機状態に戻ります。

電話帳に電話番号と名前を登録する

電話帳登録

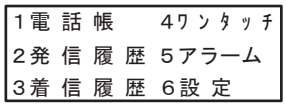
電話帳に電話番号と名前を登録できます。電話番号は、一人に付き2番号まで登録きます。
なお、新規に名前を登録する場合は、カタカナだけの入力になります。漢字入力はできません。

1

(#▷)を押す。

・メニュー画面になる。

2



(1ア)を押す。

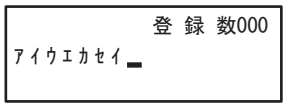
・電話帳を選択する。

3

(3サDEF)を押す。

●電話帳作成モードにします。

4

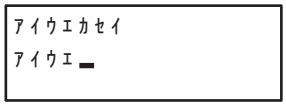


名前を入力する。

●カーソル位置で、(短縮)を押すとバックスペース、(#▷)を押すとスペースと文字決定となります。

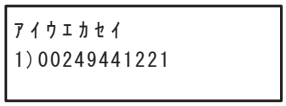
●名前を入力したら(保留)で決定する。
●入力の取消しは(短縮)を押す。

5



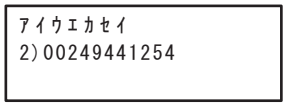
読みが4文字表示されます。(保留)で決定する。

●修正する場合は一旦消去して、入力し直してください。



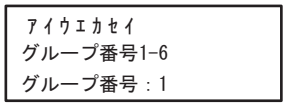
一つ目の番号を入力し、(保留)で決定する。

6



二つ目の番号を入力し、　　で決定する。

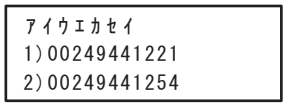
7



(選択例:グループ番号1)

グループ番号を入力する。

8



(保留)で決定する。

●決定すると操作4に戻り、次の登録を開始します。
ここで操作を終了するときは(#▷)を押してください。待機状態に戻ります。

電話帳を編集する

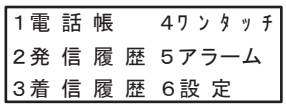
電話帳に登録されている電話番号と読みを編集できます。なお、2つ目の電話番号はこの方法での登録になります。

1

(#▷)を押す。

・メニュー画面になる。

2



(1ｱ)を押す。

・電話帳を選択する。

3

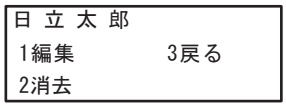
(1ｱ)か(2ｶABC)を押して編集先を選択する。

●参照→「読み仮名検索(P.64)」、「グループ番号検索(P.65)」

4

編集する電話番号を選択して(保留)を押す。

5



(1ｱ)を押す。

6

(カーソルは短縮:ﾊﾞｯｸｽﾍﾟｰｽ、#:ｽﾍﾟｰｽと文字確定)

文字を入力し、(保留)で決定する。

●読み、が4文字表示されます。
●修正する場合は一度消去して、入力し直してください。

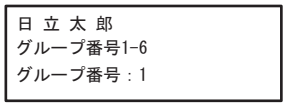
7

一つ目の番号を編集し、(保留)で決定する。

8

二つ目の番号を編集し、(保留)で決定する。

9



(選択例:グループ番号1)

グループ番号を選択して編集し、(保留)で決定する。

10

(保留)ボタンを押す。

●表示は操作4に戻り、続けて編集できます。
●待機状態に戻すときは (#▷)を押す。

発着信履歴から電話をかける

発着信履歴発信

発信と着信履歴をそれぞれ30件記憶しています。この発着信履歴を選択して電話をかけることができます。

1

```
内線番号          125
05月31日(金)      15:30
```

(#▷)を押す。

・メニュー画面になる。

2

```
1電 話 帳    4ワンタッチ
2発 信 履 歴 5アラーム
3着 信 履 歴 6設 定
```

(2カABC)か(3サDEF)を押す。

3

```
発 信 05月31日(金) 15:30

09033613663
```

(選択例:発信履歴)

※表示器の左上の文字
「着信:着信履歴」「発信:着信履歴」

相手先を選択する。

●操作2で、発信履歴または着信履歴を選択して▽か△を押すとそれぞれ30件表示されます。

●履歴は、一番新しい履歴が最初に表示されます。

4

```
発 信  05月31日(金) 15:30

09033613663
```

↓

```
        局線
09033613663
31日(金)15：30      125
```

(オンフック)を押す。

●選択先へ発信します。

発着信履歴を消去する

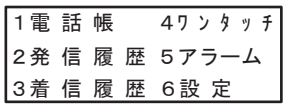
発着信履歴を消去できます。

1

(#▷)を押す。

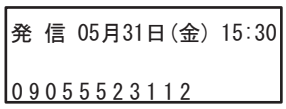
・メニュー画面になる。

2



(2カABC)か(3サDEF)を押す。

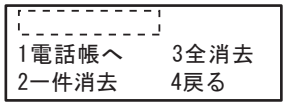
3



(選択例:2発信履歴)

保留を押す。

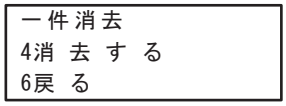
4



(2カABC)か(3サDEF)を押す。

●履歴に名前が登録されている場合は [ ] に名前が表示されます。

5



(選択例:2一件消去)

(4タGHI)を押して、保留で決定する。

●「6戻る」を選択すると、操作4に戻ります。

●「消去しました」の画面から 保留 を押すと、操作2に戻ります。

● 待機状態に戻るときは(#)を押してください。

発着信履歴から電話帳に登録する

発着信履歴電話帳登録

発着信履歴に名前を付けて電話帳に登録することができます。

1

```
内線番号          125
05月31日(金)      15:30
```

(#▷)を押す。

・メニュー画面になる。

2

```
1電 話 帳    4ワ ン タ ッ チ
2発 信 履 歴  5アラーム
3着 信 履 歴  6設 定
```

(2カ ABC)か(3サ DEF)を押す。

3

```
発 信  05月31日(金) 15:30

09055523112
```

(選択例:2発信履歴)

※表示器の左上の文字
「着信:着信履歴」「発信:着信履歴」

相手先を選択する。

●(▽)か(△)を押して相手先を表示させる。
発信履歴または着信履歴をそれぞれ30件まで表示します。

●履歴は一番新しいものから表示します。

4

```
発 信  05月31日(金) 15:30

09055523112
```

登録する電話番号を選択し、(保留)で決定する。

5

```
[          ]
1電話帳へ     3全消去
2一件消去     4戻る
```

(1ア)を押す。

●履歴に名前が登録されている場合は[ ]に名前が表示されます。

6

```
              登 録 数000
ｱｲｳｴｶｾｲ_
```

(カーソルは短縮:ﾊﾞｯｸｽﾍﾟｰｽ、#:ｽﾍﾟｰｽと文字確定)

名前を入力し、(保留)を押す。

●入力文字を消去するときは(短縮)を押してください。

7

```
ｱｲｳｴｶｾｲ
ｱｲｳｴ
```

読みが4文字表示されます。(保留)で決定する。

●修正するときは一度消去して、入力し直してください。

8

```
ｱｲｳｴｶｾｲ
1)00249441221
```

番号が表示されたら(保留)を押す。

9

```
ｱｲｳｴｶｾｲ
2)
```

二つ目の番号を入力し、(保留)で決定する。

●二つ目の番号を登録しないときはそのまま(保留)を押してください。

10

```
ｱｲｳｴｶｾｲ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号1-6
ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号 : 1
```

(例:グループ番号1)

グループ番号を入力し、(保留)を押す。

11

```
ｱｲｳｴｶｾｲ
1)00249441221
2)00249441254
```

(保留)を押す。

●操作3になり、次の登録ができます。

●待機状態に戻すときは(#)を押してください。

ワンタッチダイヤルを登録する

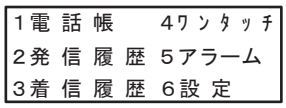
相手先の電話番号をワンタッチボタンに登録しておけます。　【この機能は HI-32C-TEL「」だけの機能です。】

1

(#▷)を押す。

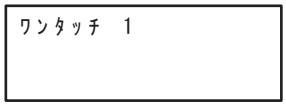
・メニュー画面になる。

2



(4タGHI)を押す。

3

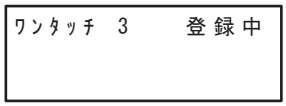


ワンタッチ番号が表示されます。

●▽△で順次ワンタッチ番号を選択できます。

▽→ → → → → → → →
1 2 3 4 5 6 7 8
← ← ← ← ← ← ←△

4

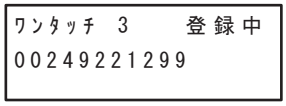


(選択例：ワンタッチ3)

登録するワンタッチ番号を表示させ、(保留)を押す。

●「登録中」と表示されます。

5

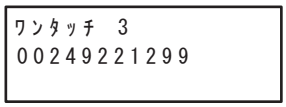


相手先番号を入力する。

●相手先番号には、内線番号、特番+外線番号を入力できます。

●登録桁数は最大32桁 (0～9、米、#)です。

6



(保留)を押す。

●操作3になり、次の登録ができます。

●待機状態に戻すときは(#)を押してください。

アラームを設定する

アラーム設定

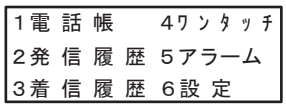
アラームを設定しておくことができ、その時刻になるとブザーが鳴ります。

1

(#▷)を押す。

・メニュー画面になる。

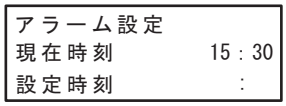
2



(5ナ JKL)を押す。

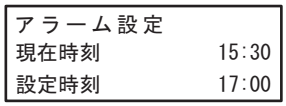
・アラーム設定画面になる。

3

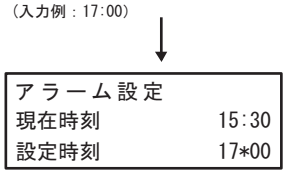


アラーム時刻を入力する。

4



（入力例：17:00）



(保留)を押す。

●設定を解除する場合は(*◁)を押してください。

●入力修正は(短縮)を押すと入力値を消去できます。

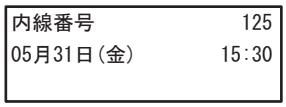
●アラームが設定されると設定時刻表示の「:」が「*」に変わります。

電話機の設定

各電話機ごとに、下記の項目を設定できます。

画面表示		設定項目	内　　容
1ページ	1	特番	特番付加情報
	2	着信種別	着信種別
	3	LCDコントラスト	LCDコントラスト
	4	着信音量	着信音量ボリューム初期設定
2ページ	1	最小着音	最小着信音量
	2	キートーン	キートーン
	3	受話音量	ハンドセット受話音量初期値
	4	送話レベル	ハンドセット送話レベル
3ページ	1	送話ノイズ	ハンドセット送話ノイズキャンセル
	2	側音	ハンドセット側音
	3	スピーカ音量	スピーカ受話音量初期値

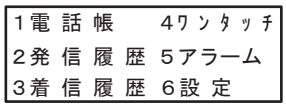
1



(#▷)を押す。

・メニュー画面になる。

2

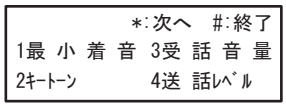


(6MNO)を押す。

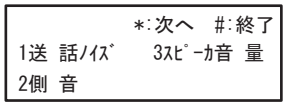
3

【1ページ】

【2ページ】



【3ページ】



設定項目画面になります。

● (*4)を押すと順次ページが変わります。

(1 → 2 → 3)

● (#▷)を押すと待機状態に戻ります。
ただし、特番設定のときは待機状態には戻りません。

【1ページ】の設定 → 76ページ

【2ページ】の設定 → 77ページ

【3ページ】の設定 → 78ページ

1ページの設定

1. 特番の設定

この電話機に読み込んだ、携帯／PHSのデータ（電話番号）に特番を付加できます。

1

```
                *:次へ  #:終了
1特 番          3LCDｺﾝﾄﾗｽﾄ
2着 信 種 別 4着 信 音 量
```

(1ｱ) を押す。

2

```
読 込 み  デ ー タ に
0184        を 付 加
```

（入力例：0184）

特番を入力し、(保留) で決定する。

●入力修正は (短縮) を押します。

2. 着信音の設定

回線毎に着信音を設定できます。

1

```
                *:次へ  #:終了
1特 番          3LCDｺﾝﾄﾗｽﾄ
2着 信 種 別 4着 信 音 量
```

(2ｶ ABC) を押す。

2

```
着 信 種 別 01●  *:次へ
着 メ ロ を 選 択 し ま す
着 メ ロ        0 0●
```

着信種別 ／ 着信メロディー

着信種別に着信メロディーを割り付ける。

●「着信種別」は14種類(01～14)です。

●「着メロ」は14種類(00～14)です。
初期値は00（着メロ無し）です。

3

```
着 信 種 別 02    *:次へ
着 メ ロ を 選 択 し ま す
着 メ ロ        0 3
```

（ 割付例：着信種別02に着信メロディー03を指定 ）

全て割付けて、(保留) で決定する。

着信種別の内容

着信種別	内 容
01	内線
02	局線
03	専用線
04	特殊着信
05	予備
06	予備
07	予備
08	保留音警報
09	ボタン着信音1
10	ボタン着信音2
11	ボタン着信音3
12	ボタン着信音4
13	予備
14	予備

着信メロディーの内容

着メロ	内 容
00	（着メロ無し）
01	ｷｬｯｽﾙ
02	ﾌｧﾝﾌｧｰﾚ
03	ｾﾚﾅｰﾃﾞ
04	ﾕﾓﾚｽｸ
05	ﾒﾛﾃﾞｨA
06	ﾒﾛﾃﾞｨB
07	効果音B1
08	効果音B2
09	効果音K1
10	効果音K2
11	効果音U
12	効果音H
13	効果音S
14	効果音I

3.LCDのコントラスト調整

LCDのコントラストを調整（淡く／濃く）できます。

1

```
                *:次へ  #:終了
1特 番          3LCDｺﾝﾄﾗｽﾄ
2着 信 種 別 4着 信 音 量
```

(3ｻ DEF) を押す。

2

```
1淡く                   2濃く
LCDｺﾝﾄﾗｽﾄ
```

(1ｱ) か (2ｶ ABC) を選択し、(保留) で決定する。

4.着信音量の初期化

着信音量を調整（小さく／大きく）できます。

1

```
                *:次へ  #:終了
1特 番          3LCDｺﾝﾄﾗｽﾄ
2着 信 種 別 4着 信 音 量
```

(4ﾀ GHI) を押す。

2

```
1小さく                 2大きく
着 信 音 量
```

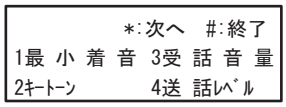
(1ｱ) か (2ｶ ABC) を選択し、(保留) で決定する。

2 ページの設定

1.最小着信音量の設定

着信音量を調節（最小／消音）できます。

1



1ア を押す。

2

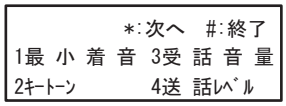
1ア か 2カ を選択し、保留 で決定する。

●「2消音」に設定した場合は、待機状態にして、音が消えるまで ▽ を押してください。

2.キートーンの設定

ボタンの操作音を調節（送出／消音）できます。

1



2カ を押す。

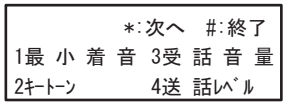
2

1ア か 2カ を選択し、保留 で決定する。

3.ハンドセット受話音量の設定

受話音量を調整（小さく／大きく）できます。

1



3サ を押す。

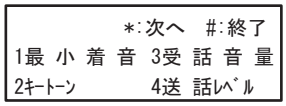
2

1ア か 2カ を選択し、保留 で決定する。

4.ハンドセット送話レベルの設定

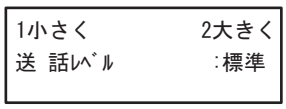
送話音量を調整（小さく／大きく）できます。

1



4タ を押す。

2



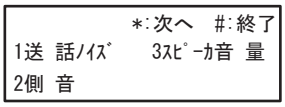
1ア か 2カ を選択し、保留 で決定する。

3 ページの設定

1.ハンドセット送話ノイズの設定

送話ノイズを調節（有／無）できます。

1



1ア を押す。

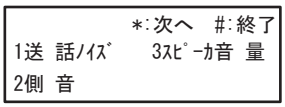
2

1ア か 2カ を選択し、保留 で決定する。

2.ハンドセット側音の設定

側音（エコー）がおきるときに調節（小さく／大きく）できます。

1



2カ を押す。

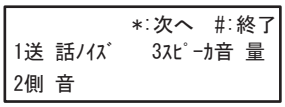
2

1ア か 2カ を選択し、保留 で決定する。

3.スピーカ受話音量の設定

スピーカからの受話音量を調整（小さく／大きく）できます。

1



3サ を押す。

2

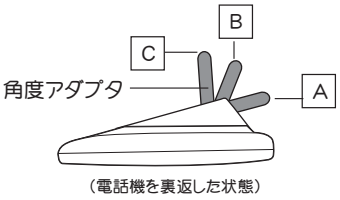
1ア か 2カ を選択し、保留 で決定する。

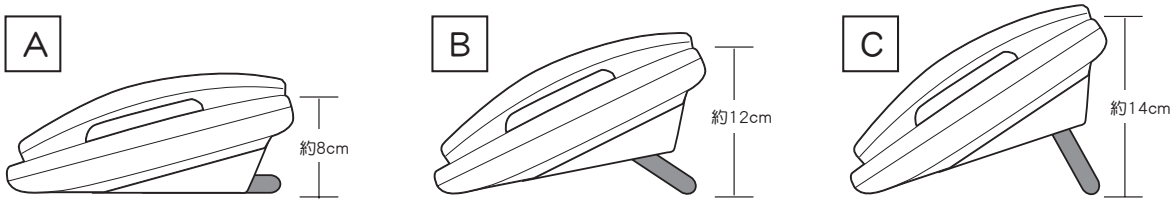
第8章

その他

電話機の角度を変える

電話機裏面の角度アダプタは右図のように変えることができます。
角度アダプタの各位置での電話機の高さは下図のようになります。

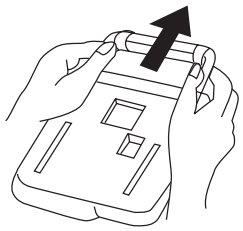




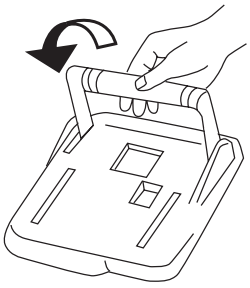
高くする

電話機が図Aの状態にある場合からの説明です。

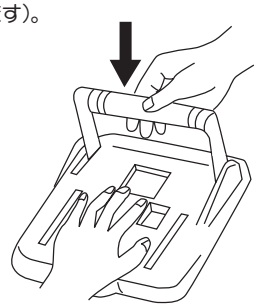
① 電話機を裏返して角度アダプタを押し出す(2段階に伸びます)。



② 角度アダプタを起こす(ストッパーが働いて図Bの角度になります)。



③ 図Bまたは図Cの角度にしたら、角度アダプタを押し込む(カチッと音がしてセットされます)。

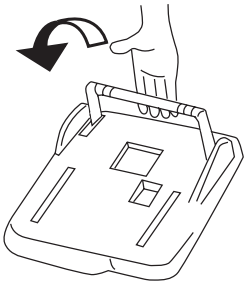


図Cにするとき

操作②の状態から・・・

① 角度アダプタを引き上げる。
ストッパーが外れます。

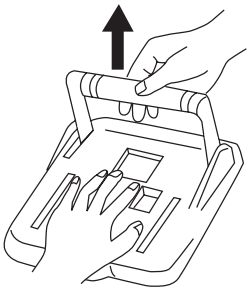
② 角度アダプタを更に手前に倒す。
図Cの状態になります。



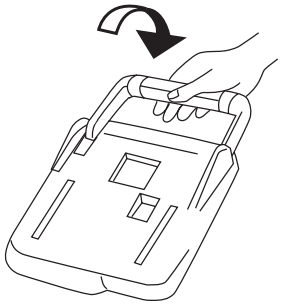
低くする

電話機が図Cまたは図Bの状態にある場合から図Aに戻す場合の説明です。

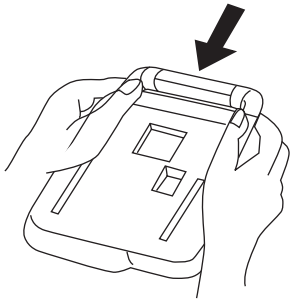
① 角度アダプタを引き上げる。
カチッと音がしてストッパーが外れます。



② 角度アダプタを図Aの角度まで倒す。



③ 角度アダプタを最後まで押し込む。



こんなメッセージが出たら

登録中の操作に間違えがあると、オンフックランプが早い点滅になり、表示器にエラーメッセージが表示されます。

表 示	意　　味
ERR-01	これ以上は入力できません。
ERR-02	指定した番号の桁数が足りません。
ERR-03	指定した番号の桁数が多すぎます。
ERR-04	ダイヤル番号、＊ 、＃ の操作に間違いがあります。
ERR-05	入力した番号は使われていません。
ERR-06	指定した短縮番号は使用できません。
ERR-07	この電話機から可変短縮ダイヤルは利用できません。
ERR-08	この電話機から、登録・取消しはできません。
ERR-09	このボタンには登録できません。
ERR-10	このボタンには既に登録されています。

主な仕様

環　境　条　件	温度：0～40℃ 湿度 TEL PFI 以外15～85%(結露なきこと) TEL PFI 25～85%(結露なきこと)
表　示　器	文字列：3行 1行当たりの文字数：半角で20 全角で10
	文字フォント：JIS第1水準、第2水準の漢字 6353文字 JIS非漢字 285文字
外　形　寸　法	約180(幅)×96(高さ)×233(奥行)mm
質　　量	約0.8kg

お客様メモ・・・・・購入年月日・購入店名を記入しておいてください。

形　　名	
購 入 日	年　　月　　日
購入店名	
	TEL